

平成22年度

—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—

豊かな環境づくり大阪行動計画

平成22年6月

豊かな環境づくり大阪府民会議

ごあいさつ

豊かな環境づくり大阪府民会議は、平成6年11月に発足して以来、府民・事業者・行政の連携強化や情報の交流を図りながら、各主体の自主的な環境保全行動を促進するとともに、社会全体の環境保全意識の向上を図るために、様々な実践活動に取り組んできました。

地球温暖化対策については、最近、改めてその重要性が認識されていますが、このたび策定した平成22年度「豊かな環境づくり大阪行動計画」におきましても、「低炭素社会への転換」を共通テーマの1つに取り上げ、府民会議が主体となって取り組む重点行動に「家庭や学校・職場における低炭素社会に向けた実践行動の推進」を設定しました。

具体的には、「減らそうCO₂ めざそう低炭素社会」をテーマにパソコンの壁紙を募集・公開する「環境壁紙コレクション」事業、身近に実践できるエコアクションがCO₂排出量の削減に繋がることを実感していただくためのエコチャレンジ事業、グリーン購入の普及啓発を促すセミナーやキャンペーン、夏至（6月21日）とクールアース・デー（7月7日）の夜に家庭・職場・ライトアップ施設等の照明を消すことにより地球温暖化防止についての啓発を行う「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」などの実践活動に、府民会議や構成団体が積極的に取り組んでまいります。

豊かな環境を次の世代に引き継いでいくことは私達の重要な使命であり、今後とも、府民の皆様とのパートナーシップにより、「環境先進都市・大阪」の実現に向けて、活動の輪を大きく広げてまいりたいと考えております。

皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成22年6月



大阪府知事 橋下 徹

はじめに

～ 計画の背景と構成 ～

1992年（平成4年）6月に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」が開催され、人類が21世紀に向けて持続可能な発展をめざす行動計画である「アジェンダ21」が採択されました。その中では、各地方自治体において、当該地域住民が主体の地球環境保全に向けた行動計画である「ローカルアジェンダ21」の策定が求められています。

大阪府では「人のこころがかよいあう豊かな環境の保全と創造」をめざして、平成6年3月に「大阪府環境基本条例」を制定するとともに、同年11月に「豊かな環境づくり大阪府民会議」を発足いたしました。

府民会議では、平成7年6月に「地球環境保全行動指針 身近な環境 愛する心と行動が地球環境を守る」を策定するとともに、平成8年6月には、実践活動を具体的に推進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画 地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21」を策定しました。この「行動計画」では、府民会議構成団体の具体的な実践活動を体系化するとともに、情報交流や活動を奨励・支援する事業を盛り込み、年度毎の計画の点検・更新を定めています。

今年度の行動計画については、化石エネルギーを大量に消費する社会から、二酸化炭素の排出抑制を徹底する低炭素社会へと転換を図ることが急務であることから、共通テーマとして新たに「低炭素社会への転換」を加え、「循環型社会の構築」、「自然と調和したまちづくり」と合わせて、3つの共通テーマのもとに豊かな環境づくりを進めてまいります。

共通テーマに基づき、府民会議が主体となって取り組む重点行動としては、「家庭や学校・職場における低炭素社会に向けた実践行動の推進」を掲げ、様々な事業を通じて環境に対する意識の啓発に努めてまいります。

また、共通テーマに沿って、府民会議構成団体が取り組む重点行動（32項目）を設定しており、豊かな環境の保全と創造のために、各構成団体においても自主的に様々な取り組みを進めてまいります。

目 次

【本 編】

第1章 基本理念・目標

- 1 平成22年度の府民会議の活動方針について 1

第2章 実践活動

- 1 平成22年度の府民会議主体の実践活動 3
- 2 平成22年度の構成団体の活動方針 6
- 3 平成21年度の府民会議主体の活動の報告 14
- 4 平成21年度の構成団体の活動の報告 22

【資料編】

- 地球環境保全行動指針 30
- 大阪21世紀の環境総合計画（概略） 40
- 大阪府の環境マネジメントシステムに係る取り組み状況 44
- 市町村の環境保全に係る取り組み状況 45
- 豊かな環境づくり大阪府民会議規約 57
- 豊かな環境づくり大阪府民会議委員名簿 58
- 構成団体の連絡先 60
- 豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過 62
- かんきょう交流Roomのご案内 66

【本 編】

第1章 基本理念・目標

1 平成22年度の府民会議の活動方針について

都市・生活型公害や地球環境問題など、社会経済システムやライフスタイルに起因する今日の環境問題を解決するためには、府民、事業者、行政がそれぞれの立場に応じて豊かな環境の保全と創造に資する自主的な活動に主体的に取り組むことが重要となっています。

このため、豊かな環境づくり大阪府民会議では、年度ごとに行動計画を策定して、豊かな環境づくりに向けた行動を方向づけるとともに、調整・連携する、意見交換する、創造する、といった「3つのC」(下記参照)の役割を担うことにより、各主体の自覚による豊かな環境づくりに向けた行動が定着した社会の実現を目指しております。

「3つのC」とは

Coordinate 調整・連携する

Communicate 意見交換する

Create 創造する

また、豊かな環境づくり大阪府民会議では、環境問題などの解決に向けて、構成団体が共通認識のもとに、効果的に取り組みを進めていくため、特に取り組む課題として“共通テーマ”を掲げ、その共通テーマの実現に向けた具体的な行動として、府民会議構成団体が協働して取り組む“重点行動”を設定しています。

“共通テーマ”は、基本理念を基づいて、環境をめぐる社会的状況から行動を起こしていく必要性、緊急性が認められるもの、行動の輪を府民、事業者に広げていくことが求められるもの、府民会議の構成団体が共通認識のもとに具体的な行動を独自におこしていくことが可能なもの、という3つの観点から設定しています。

そして、共通テーマの実現に向けた具体的な取組みとして、“重点行動”(32項目)を設定し、府民会議構成団体が率先して取り組むとともに、広く府民に対して啓発普及を図っています。

また、府民会議が主体となって取り組んだ場合に効果が大きいと思われるものに焦点をあて、「府民会議が主体となって取り組む重点行動」として関連する事業を展開しています。

豊かな環境づくり大阪行動宣言

- 地球環境保全行動指針に基づき、豊かな環境づくりに向けて行動を起こすことを宣言します。 -

身近な環境を歩いて、見て、感じ、私たちの環境がどのようであればよいかを考え、自らの日々の活動との関わりを見つめて、行動目標を定めます。

豊かな環境づくりに向けた行動目標の実現を目指し、具体的な実践活動に取り組むとともに、行動の輪を府民、事業者に広げていきます。

行動した結果を点検するとともに、情報交流や環境学習などを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動がより創意工夫に富んだものに改善されるよう努めます。

基本理念

環境に配慮した暮らし・事業活動

大阪における高度な経済活動・都市活動は、地域の環境はもとより、地球環境に対しても重大な影響を与えています。私たちの日常生活様式や事業活動が、環境に影響を与えていることを十分認識し、資源・エネルギーの消費を抑制するとともに、循環的な利用の徹底等によって、環境への負荷を低減するため、行動します。

自然と共生する社会づくり

自然は、生態系の保全、都市の気候緩和、憩い・やすらぎの場の提供など、様々な恵みを私たちに与えてくれています。自然の一員である私たちは、自らの命・生活・心よりどころである自然を地球的な視野にたって守り育て、自然と人とが共生する社会づくりに向けて、行動します。

ゆとりと潤いのある美しいまちづくり

大阪では、新たな交流の時代を迎えて、生活環境の質を高め、世界都市にふさわしい魅力と個性、風格を備えたまちづくりが求められています。豊かで潤いのある緑や水辺の空間を確保し、美しい景観を創造するとともに、歴史的・文化的遺産が保全・活用された大阪らしい文化の香りあふれるまちを形成するため、行動します。

平成22年度 共通テーマ

低炭素社会への転換

平成20年度から「地球温暖化・ヒートアイランド現象の防止」を共通テーマに掲げて取組みを進めてきましたが、化石エネルギー依存から脱却し、地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出抑制を徹底する“低炭素社会”への転換を図るため、ビジネススタイルやライフスタイルの変革に繋がる取組みを進めていきます。

循環型社会の構築

前年度に引き続き、廃棄物の発生抑制や資源の循環的な利用等により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減するため、一人ひとりのライフスタイルや社会経済活動の転換に向けた取組みを進めていきます。

自然と調和したまちづくり

前年度に引き続き、都市化が進んだ大阪において、各主体の協働のもと、身近な自然環境を保全・再生し、豊かな水辺環境やみどりなどの空間を確保することによって、生物の多様性が保たれ、ヒートアイランド現象が緩和される、自然と調和した地域づくりに向けた取組みを進めていきます。

府民会議構成団体に取り組む32の重点行動

グリーン購入の推進

- 1 エコマーク商品や大阪府認定リサイクル製品など環境にやさしい商品積極的に購入する。
- 2 トレイ容器を使用しない商品や詰め替え商品、はかり売り商品などを選ぶ。
- 3 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋を受け取らない。
- 4 職場などで使用する事務用品等のグリーン購入を徹底する。
- 5 環境にやさしい商品の開発、販売を促進する。

ごみ減量化・リサイクルの推進

- 6 無駄な買い物をひかえ、簡易包装や再利用を徹底し、ごみの発生を抑制する。
- 7 分別を徹底し、集団回収や店頭回収、市町村の分別収集に協力する。
- 8 新しい家電リサイクルシステム（大阪方式）を活用し、廃家電品のリサイクルを推進する。
- 9 古着や中古品の活用などリユースを進める。
- 10 職場での紙の使用量削減やリサイクルに取り組む。
- 11 集客イベントの実施にあたってはごみの排出を抑制し、ごみの持ち帰り、分別等を徹底する。

家庭や学校・職場での省エネ・新エネの推進

- 12 家庭や学校・職場でのこまめなスイッチオフを徹底する。
- 13 使い終わった電気製品は主電源を切り、待機電力の消費量を減らす。
- 14 水の大切さを感じ、節水に努める。
- 15 冷暖房の適正な温度設定に努める。
- 16 買い替え時に省エネ型商品を選択する。
- 17 太陽光発電等の新エネルギー設備の導入を推進する。

【実施方法】

府民会議各構成団体は重点行動メニューの中から実施する行動を1つないし複数選択し、それに基づく取組みを決め、下部組織にも取組みを呼びかけます。後日、府民会議全体での実施状況を把握します。

自動車使用の見直し・エコドライブの推進

- 18 公共交通機関や自転車・徒歩を利用し、不要不急の自動車使用を自粛する。
- 19 不要なアイドリングをしない。
- 20 やさしくスムーズな発進、加減速の少ない運転や減速時の早めのアクセルオフなどに努める。
- 21 タイヤの空気圧チェックなど、車の整備・点検を徹底する。
- 22 買い替え時には環境に配慮した車を購入する。
- 23 集客イベントの実施にあたっては、公共交通機関を優先した来場経路の確保に努める。

自然環境の保全とふれあいの推進

- 24 身近な自然を見つめなおして、自然の大切さを考える。
- 25 自然や野鳥の観察会など自然とふれあう機会を増やす。
- 26 森林や里山などの自然保全活動を推進する。
- 27 河川や海岸の美化・清掃活動などへ積極的に参加する。
- 28 自然の中で行う行事や活動では、不必要な草木の採取や自然を破壊しないことを徹底する。
- 29 地産地消や農作業の体験等を通じ、都市農業の重要性を考える。

緑化の推進

- 30 花や草木の栽培、生垣の設置など身近な場所での緑化を推進する。
- 31 地域の緑化や植樹活動等に積極的に参加する。
- 32 建物・工場などの屋上・壁面や敷地内の緑化を推進する。

府民会議が主体となって取り組む重点行動

「家庭や学校・職場における低炭素社会に向けた実践行動の推進」

平成22年度 府民会議主体の実践活動
3頁～5頁参照

平成22年度 構成団体の活動方針
6頁～13頁参照

平成22年度 構成団体の実践活動
(URL)

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html> に掲載

検索キーワード「かんきょう交流ルーム」で検索し、「府民会議の取り組み」「豊かな環境づくり大阪計画」「構成団体の実践活動目標」の頁参照

第2章 実践活動

1 平成22年度の府民会議主体の実践活動

大阪府域においては、家庭や職場における二酸化炭素の排出量が大幅に増加していることから、府民会議では、二酸化炭素の排出抑制を徹底する低炭素社会への転換に向けて、家庭や職場・学校において、ビジネススタイルやライフスタイルの変革につながるエコアクションの取組みを実施していきます。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html>

(1) エコチャレンジ事業の実施

趣旨	身近に実践できるエコアクションが、CO ₂ 排出量の削減につながることを実感してもらうために、チェックシートによるエコアクション・チェックを行ってもらい、さらなるエコアクションへと誘うことを目的に行うものです。
期間	平成22年6月中の任意の7日間
内容等	・エコアクション項目を記載した「大人用」と「子ども用」のチェックシートを府民会議構成団体の会員等に配布し、実際に実践してもらった項目をチェックしてもらいます。 ・参加団体の取組みによる成果(参加人数、CO ₂ 削減量等)を集計し公表するとともに、各団体に対して、その成果を記したエコチャレンジ認定証を発行します。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/challenge.html

(2) 環境壁紙コレクション事業の実施

趣旨	「減らそうCO ₂ めざそう低炭素社会」をテーマに、パソコンの表示画面の壁紙を募集し、応募作品をホームページに掲載することにより、好みのデザインを誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより啓発を行います。
期間	募集：平成22年7月～9月、HP掲載：平成22年9月～、表彰：3月
内容等	・「減らそうCO ₂ めざそう低炭素社会」をテーマに、構成団体の会員や府民からパソコンの壁紙作品を募集します。 ・応募作品をかんきょう交流ルームのホームページに掲載し、優れたデザインの壁紙の作者を表彰します。

(3) 「グリーン購入セミナー in 大阪」の開催

趣旨	環境省、グリーン購入ネットワーク、大阪府と共催で、グリーン購入についての理解を深め、その促進を啓発するセミナーを開催します。
時期	秋季(予定)
内容等	・基調講演や事例発表などを内容とするセミナーを開催します。 ・開催に合わせて府民会議や構成団体の活動を紹介できるよう工夫します。 ・府民会議のネットワークを生かして広く参加者を募ります。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/seminar.html

(4) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

趣旨	日常の買い物において身近に行えるグリーン購入の実践を通じて、府民や事業者が環境との関わりを深く認識し、環境に配慮した生活や経済活動を実践するための契機とすることを目的に、府民会議構成団体の協力のもと、より多くの店舗・業種に参加を呼びかけ実施します。
期間	平成22年10月1日～平成22年10月31日
内容等	府内の事業者（参加各店舗）等に対し、特に次の取り組みを働きかけます。 ・キャンペーンポスター等の掲示による消費者への啓発 ・「環境に配慮した商品」の販売や、「はかり売り」「はだか売り」の実施 ・簡易包装の実施、買い物袋持参の奨励 など (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html

(5) グリーン購入店舗調査の実施

趣旨	店舗における環境配慮型商品の取扱い状況等の調査を行い、その結果を情報提供することにより府民や事業者の環境配慮行動を促進します。また、グリーン購入に関する知識を学習することにより、調査員自身のグリーン購入の実践を促します。
期間	平成22年10月～平成22年11月
内容等	・府民会議構成団体の会員による実地調査を実施します。 ・府内各店舗に対して、文書によるアンケート調査を実施します。 ・調査結果について、ホームページを用いて情報発信を行います。 (参考) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/tenpo.html

(6) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

趣旨	府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するために、電子広報誌「かんきょう夢ひろば」を発行し、イベント情報等の発信を行います。
期間	年4回程度
内容等	・ホームページ上に掲載する形で発行します。 (参考) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html

(7) ライトダウンキャンペーンへの参加

趣旨	環境省の提唱のもと、日頃いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化対策の実践の動機付けとするため、ライトアップ施設や家庭・職場の電気を消すように呼びかけるキャンペーンに参加します。
期間	平成22年6月20日～平成22年7月7日
内容等	・特別実施日である夏至(6月21日:ブラックイルミネーション2010)と七夕(7月7日:クールアースデー)にライトダウンに協力する施設(環境省の専用サイトで登録)について、府民会議構成団体への周知を図り、積極的な登録を促します。 ・府民会議構成団体のキャンペーンへの参加状況やCO ₂ 削減量等を取りまとめ、ホームページで公表します。

(8) 「ウォームビズ」の取組みへの参加

趣旨	環境省の提唱のもと、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房(自治体19、民間20)を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される取組みに参加します。
期間	平成22年11月1日～平成23年3月31日
内容等	・適正暖房の徹底について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。 ・府民会議構成団体のキャンペーンへの参加状況を取りまとめ、ホームページで公表します。

(9) 「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みへの参加

趣旨	関西広域機構の提唱のもと、事務所・会議室の適正冷房（28℃）の徹底や、軽装の奨励などにより、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される取組みに参加します。
期間	平成22年6月1日～平成22年9月30日
内容等	・適正冷房の徹底や軽装の奨励について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。

(10) 省エネラベルキャンペーン（夏、秋冬）の周知等

趣旨	家庭からのCO ₂ 排出量を削減するため、省エネ情報を提供する「省エネラベル」を商品に貼付して家庭への省エネ型家電製品の導入を促進する目的で、大阪省エネラベルキャンペーン実行委員会が実施しているキャンペーンの周知等を図ります。
期間	夏：6月～8月、秋冬：11月～1月
内容等	・府民会議構成団体を通じてその会員等に周知等を図ります。

(11) ストップ地球温暖化デーや各種イベント等の周知

趣旨	毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」や、地球温暖化対策や省エネ行動の実践等に関するその他の各種イベントについて周知を図ります。
期間	随時実施
内容等	・府民会議や構成団体主催のイベント等において周知、啓発等を行う。

(12) おおさか環境賞の実施

趣旨	自主的かつ積極的に、他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組んでいる個人、団体、事業者に対し、その活動を賞し奨励することを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動の輪を広げることを目的として実施します。
時期	推薦受付：4月中旬～6月中旬、選考：7月、表彰式：8月末
内容等	・府民会議構成団体等を通じて候補者を推薦してもらい、選考委員会による選考を経て、大賞、準大賞、特別奨励賞、奨励賞を授与します。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/prize.html

(13) 大阪府環境保全活動補助事業への審査協力

趣旨	大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議としてその審査に協力します。
時期	募集：4月～5月、審査：6月、決定：7月
内容等	・府民会議の企画委員の中から環境保全活動補助事業審査会の審査委員が選任され、補助対象案件の審査に協力します。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html

2 平成 22 年度の構成団体の活動方針

府民会議に参加している府民団体、事業者団体、関連団体等の平成 22 年度の活動方針は以下のとおりです。

なお、各団体の取り組みの具体的な内容や目標については、下記 H P に重点行動テーマごとに分類して掲載しています。

(<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html>)

府民団体

(社)大阪エルフボランティアネットワーク

(社)大阪エルフボランティアネットワークは、「健康で明るく住みよい地域社会の実現」をめざして、昭和 29 年発足以来(「衛生婦人奉仕会」から平成 7 年度に改称)、女性の組織力を結集し、関係機関・団体、地域の住民との連携のもとに、環境・保健・福祉など各分野にわたり実践活動を展開してきました。

平成 22 年度は、健康おおさか 21 の実現をめざし、府民の健康づくり、福祉のまちづくり、地域の環境づくりに向けた活動を引き続き実践いたします。特に環境問題への取り組みとしては、毎月 24 日の「清掃の日」の活動やゴミ減量運動などの環境美化活動に取り組むとともに、地球温暖化防止にも資する「ノーマイカーデー」への協力やリサイクルといった省エネルギーと資源愛護運動を推進します。

また、公害の追放をめざして、「きれいな水を取り戻す運動」などに取り組めます。府民会議主体の実践活動と連携し、理事会・各支部での啓発を中心としたグリーン購入推進運動を進めます。

(財)大阪府子ども会育成連合会

(財)大阪府子ども会育成連合会では、環境学習の視点を取り入れ、子ども自身が体験や調査を通じて環境問題について学び、その成果を地域の人々に発信していく地域ぐるみの活動と呼びかけてまいります。

府内約 4,000 の単位子ども会に対し、豊かな環境づくりに向けた啓発活動を実施するとともに、子ども会の育成役員及び青年指導者に対し、自然環境教育の研修を実施してまいりたいと思います。また、豊かな環境づくりに向けて関係機関との連携・協調及び情報交換に努めています。

活動内容として、平成 22 年度も広報紙「子ども会大阪」を通じて地球温暖化防止を呼びかけてまいります。また、府内子ども会青年指導者・育成者を対象に、指導者・育成者として必要な理論と技術を研修する中で、四季の活動を通じて自然活動の基礎を習得するとともに、地域社会の中で子どもたちが人や自然と深く関わりながら、心豊かにたくましく育つ環境づくりの第一線に立ち、地域活動の活性化に努め、「生きる力」を育ててまいりたいと考えています。

さらに、リサイクル活動、公園や街の清掃、身近な自然の観察、花いっぱい運動など豊かな環境づくりに向けた地域ぐるみの活動を展開しています。

大阪府生活協同組合連合会

府民活動の分野では、全国の生協が協同してすすめる「コープみんなでエコ！キャンペーン」に参加し、家庭での省エネ活動を推進します。また事業活動の分野では、「グリーン購

入の推進」を図ります。また行政、事業者、環境団体、消費者団体等が連携してすすめる「省エネラベルキャンペーン」の実行委員会に引き続き参加し、省エネラベルの普及・啓発の活動を推進します。

大阪府青年団協議会

大阪府青年団協議会は、平成 22 年度は、平和・人権・環境の大きなテーマの 1 つの柱となる運動として、環境問題に取り組んでいきます。青年団員だけでなく、より多くの府民の皆さんと共に、ひとりからできる身近な活動を展開・拡大していきます。

特に継続していかなければならない次の 5 つのテーマの推進に加え、独自の運動を展開していくことを考えています。

- ・ グリーン購入の推進
- ・ 省エネルギーの推進
- ・ アイドリングストップ
- ・ ごみの分別収集
- ・ ダイオキシン問題

など、一人でも出来ることから運動へと拡大していきます。

(社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部

21 世紀を担うガールスカウトの少女達が責任ある「世界市民」の一員として、地域の今日的課題である環境問題への取り組みを日常の活動に取り入れ、調査研究活動を通じてスカウトが企画運営する「ふれあいの日 2010」(テーマは「みどり」)として府内各地域で普及啓発活動を行います。

平成 22 年度は、「32 の重点行動」の中から、他団体との連携を通じて意識の向上に向けての効果が顕著であることから、昨年度に引き続き「グリーン購入推進運動」に取り組めます。さらに、共通テーマ「低炭素社会への転換」「循環型社会の構築」「自然と調和したまちづくり」に基づき、小さな仕掛け人として植樹に参加したり、森を守るために私たちにできることを呼びかけます。重点的な取組方向としての「省資源・省エネルギーの推進」「身近なみどりの保全と創造」については「自らできるもの」「身近な人や家庭に」の実践を促進し、支部全体としては、「ふれあいの日 2010」とあわせて大阪府全域に普及啓発活動を行います。

国際ソロプチミスト大阪

本年度も前年度の活動方針を基にエコ活動に協力していきたいと思えます。私たちのクラブは、月 1 回の働く女性の奉仕活動を行う集まりですが、世間一般同様平均年齢が高くなり、家庭に出来ることから大阪行動計画にそって地球環境を守っていきたく思っております。

例会では出来るかぎりエコの大切さを呼びかけ、CO₂削減に協力出来るよう会員とともに努力したいと思っております。

国際ロータリー第 2660 地区

国際ロータリー第 2660 地区は、本年度も引き続き、環境問題を最優先事項の一つととらまえて活動を行います。

22 年度は、

「豊かな環境づくり大阪府民会議」のホームページとリンクを貼るなど環境問題のホームページを作成します。

環境問題に対する各クラブ会員への意識向上をはかる
府民会議に協調した運動の推進

世界環境ディ/環境月間の運動への参画
を重点に、会員およびその企業と共に、取り組みを拡充していきたいと考えています。

なにわの消費者団体連絡会

「ごみの発生抑制」について、「容器包装リサイクル法」について大阪府環境農林水産部資源循環課の担当者からご出講を願い、学習後、チェーンストア協会・百貨店協会と、買物袋持参運動・トレイ等について、まずは各々の協会などの立場からのご意見を伺い、意見交換をしたい。その後（第2回目）は立場を変え、消費者は買物袋持参・トレイ等についてどう思っているのか等意見交換（来年2月頃）をしたいと考えています。

それらを広く当会構成団体の会員及び一般消費者へも啓発し、「環境にやさしい社会づくり」の一環としていければと企画しました。

(社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会

(社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会では、事業実施時には、大阪府下各地の青年会議所にも環境配慮を呼びかけます。

日本ボーイスカウト大阪連盟

ボーイスカウトでは、青少年が自然を活動の場とすることで、自然に学び、感謝し、畏敬の念を抱きつつ、社会や自然に貢献できる人間として成長することを図っています。これまで環境問題を指導者から各組織内へと浸透させることを目指し、セミナーや環境プログラム実践発表会等を開催しました。地球温暖化防止につながる自然との付き合い方についても学習をしてきました。

本年度は、昨年度の継続事業の環境配慮実践活動として、実践活動に取り組むためのハンドブックの作成、環境にやさしいキャンプ場の整備等ボーイスカウト活動中、特に野外における環境配慮実践を確立するための活動に取り組みます。

日本野鳥の会 大阪

私たち野鳥の会では、活動の中心である自然観察会で公共交通機関の利用を徹底し、車の使用を見直し、世界規模で問題となっている「地球温暖化防止」に努めています。

また、自然とのふれあいの推進では、野生動物と共存できる環境を守る事を進めるため、「自然とのふれあいの推進」の啓蒙のために、学校、会社、団体に対し啓蒙活動を行っています。

関西の河川でゴミ拾いを行っているボランティア団体「ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク」と協同して第二日曜日淀川・海老江干潟で春の4月と5月、秋の8月9月の4回シギチドリを観察した後、ゴミンゴの皆さんとゴミ拾いを実施します。

日本労働組合総連合会大阪府連合会

日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）は、「エコ・ユニオン - 環境にやさしい労働組合」をめざして、環境問題への取り組みを活動方針の大きな柱の一つとして位置づけてきました。

平成22年度も、連合が全国で展開している「エコライフ21」により各構成組織が独自の取り組みを展開します。連合大阪の地域組織は、10月23日の環境統一行動の日として実施します。

さらに、平成22年度から、環境に関する作業委員会を設置し、労働組合が取り組む具体行動を協議します。

ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区

ライオンズクラブは7月に年度替りしますが、21年度は「CO2削減」の為に市民参加のセミナー等の開催を全クラブに向けて呼びかけており、22年度もセミナー等開催する様、呼びかけていきたい。

事業者団体

(社)関西経済連合会

産業界としては、従来からの自主的な取り組みをさらに推進し、保有する環境・エネルギー技術をより一層活用するとともに、さらなる技術の開発・普及を行ってその達成に向け最大限努力し、低炭素社会の実現へ向け積極的に取り組んでいく必要があります。

(社)関西経済連合会では、本年度も、地球温暖化問題への対応を中心に、関係団体とも連携しつつ、引き続き会員企業に実践活動と呼びかけ、活動のさらなる深化・発展に取り組むこととしております。特に、関西に環境・エネルギー関連産業が集積している強みを活かし、環境・エネルギー技術・製品のさらなる普及啓発、官民連携による環境教育などを推進し、関西の環境先進性を国内外に発信してまいります。加えて、地球温暖化対策は、産業界はもちろん、民生・運輸部門においても一層の取り組みが求められており、会員企業や関係諸団体ともより一層、幅広く連携・協力しながら、省エネ活動等の取り組みを拡大してまいります。

(社)関西経済同友会

(社)関西経済同友会は、日本の経済社会の諸問題を調査研究し、提言を行うこと、併せて会員相互の交流および経営者としての自己研鑽を行っています。

平成22度は従来と同様、関西広域機構の活動に積極的に参画していきます。同機構の提唱する「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取り組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視します。またグリーン購入活動の推進などについてもPR啓発活動に取り組んでいく予定です。

今後は多様な環境問題について同機構の場を通じた自治体や他の経済団体との連携活動をより重視していきます。

大阪商工会議所

大阪商工会議所は、あらゆる業種・規模の会員を擁する大阪・関西を代表する団体として、活力ある経済社会と都市魅力にあふれた大阪・関西の実現をめざします。

具体的には14の委員会を設置し、各々活動していますが、環境分野については「環境推進委員会」が中心となり事業を展開します。

ミッション

- 「大阪・関西地区の企業における環境経営の取組み支援と環境レベルの向上」
- 「環境・エネルギーの視点を取り入れた産業振興の支援」

基本活動方針

- 1) 地球温暖化対策への貢献
- 2) 企業の環境経営への取組み支援
- 3) 環境・エネルギーの視点を取り入れた産業振興の支援
- 4) 環境行政との連携

(社)大阪府工業協会

(社)大阪府工業協会は、事業者団体として、地球環境問題への取り組みが事業者の社会的責務であるとの認識のもと、様々な環境問題に取り組み、より実務的立場から環境に関する調査研究活動や普及啓発活動、事業者への活動支援など、豊かな環境創造を目指して活発な事業活動を推進しています。

平成 22 年度は、前年度に引き続きマテリアルフローコスト会計研究会の実施、および「重点行動」のうちから効果的な取り組みを展開するため、府民会議全体の取り組みと連携して「グリーン購入推進運動」を中心に、「スイッチオフ推進運動」、「アイドリングストップ運動」に取り組みます。

また、重点項目として、事業所や工場における省エネルギー対策および環境マネジメントシステムへの対応に関する普及啓発活動を実施します。

大阪府中小企業団体中央会

大阪府中小企業団体中央会は、中小企業の組合を会員として設立された団体で、大阪府や関係機関と連携して中小企業の組織化と活性化に努めています。

中央会内に設置しております専門委員会の中の環境対策委員会を通じて環境問題について建議陳情を引き続き行ってまいります。

平成 22 年度は環境問題に関する支援事業を通じて中小企業の組合の環境問題への取り組みを支援し、この事業を通じて、低炭素社会への転換に努めてまいります。

また、機関誌「大阪の中小企業」等により、省エネルギー、低炭素社会への転換、夏期・冬期の適正冷暖房とクールビズ・ウォームビズの取り組みなどの普及啓発、さらに総会をはじめ、秋に開催いたします中小企業団体大阪大会においても、普及啓発活動に努めてまいります。

大阪百貨店協会

大阪百貨店協会は、22 年度の取組と致しまして、地球温暖化対策を中心とした環境対策が求められる中、引き続き温室効果ガス削減（省エネルギー対策）や、ゴミの削減等の対策を通じ、地球温暖化防止に努めていくとともに、業界として自主的行動計画の推進し、環境改善への貢献を継続するとともに、環境マネジメントの水準の向上に努めて参ります。

また、昨年の活動目標を踏襲し、引き続き環境にやさしい活動に取り組んでまいります。本年度も業界上げて「スマートラッピングの普及定着」への PR をはじめ、「省エネ照明デザイン（LED 照明など）普及推進の取り組み」「クールビズのさらなる普及・定着強化」など全国の百貨店と共同して取り組むとともに、例年継続している電力使用量の 1% 削減を本年も目標とするとともに、全国の百貨店で取り組む計画の「夏場の冷房温度の緩和」運動を継続して実施するとともに、「冬場の空調温度調整の取組」等も行うとともに、ライトダウンキャンペーンも合わせて実施していく予定です。

日本チェーンストア協会関西支部

地球温暖化防止

環境調和型・省エネ型商品の積極的な調達、開発、メーカー等への働きかけ

省エネ型店舗施設づくり、エネルギー効率向上システムの導入

物流の効率化、ハンガー納品等による物流資材削減、アイドリングストップ運動の徹底

フロンの排出抑制・漏えい防止、CFC（クロロフルオロカーボン）回収の徹底

省エネ型ライフスタイルの提案

循環型経済社会の構築

店舗・事務所からの廃棄物の削減 分別の徹底
容器包装の削減、環境負荷の少ない材質への改善 レジ袋削減、トレー・包装資材削減
再生紙使用の推進 リサイクルの徹底
容器包装リサイクル法の遵守と店舗での資源回収の推進
省資源型ライフスタイルの提案

大阪府小売市場総連合会

平成21年度に引き続き小売市場総連合会では、

「ゴミの減量化」の推進に向けて取り組んでまいります。各市場において、簡易包装の実施、マイバックの持参を消費者の協力を得て実施していきます。

「省エネに対する意識向上」について、家庭や職場や市場等で実践できることを、理事会等で啓発していくとともに、冷暖房の細かなチェック、使わない電気類は電源からオフにすることなど、小さな意識の積み重ねを進めていきたいと思いを。

ゴーヤなどの植物を植え「グリーンカーテン」を作り、部屋の温度を下げる実践活動を行いたいと思いを。

不要不急の自動車使用を自粛します。また、不要なアイドリングをしません。

大阪府商店街連合会

大阪府商店街連合会では、理事会、総会、役員研修会等において、「府民会議構成団体が取り組む32の重点行動」を周知します。

また、会員には機関誌「府商連新聞」において広く周知啓発します。

関連団体等

地球環境関西フォーラム

地球環境関西フォーラムの「新行動憲章」を基本的な考え方とし、地球温暖化対策、低炭素社会や循環型社会の構築、持続可能な都市再生、生物多様性保全、環境技術面でのアジアへの貢献や環境意識啓発などに関し、「2010年以降の中期活動の方向性」を踏まえながら、大学、自治体、産業界、NGOその他の機関と連携を図りつつ、継続的かつ実践的な取り組みを推し進めます。

併せて市民の地球環境問題への自主的な取り組みや参画を促す施策を展開・支援する活動を行います。

【2010年以降の中期活動の方向性】

長期的視野に立った持続可能な社会のあり方を市民に情報発信し、社会への定着を図っていくため、地域を基盤とした実践に取り組めます。

- (1) 連携の強みを活かし、地域・企業・市民活動の活性化に向けた取り組みを行います。
- (2) 生物多様性保全に向けた発信を図ります。
- (3) アジアとの交流を深化し、途上国の持続可能な発展への貢献に向けた取り組みを行います。

(財)大阪みどりのトラスト協会

(財)大阪みどりのトラスト協会は、大阪府内に残された貴重な自然環境を保全するとともに、

市街地の緑化を推進し、緑豊かで快適な環境づくりに寄与することを目的とした事業を実施します。

22年度は、「和泉葛城山ブナ林」及び「三草山ゼフィルスの森」の保全整備への取り組みをはじめ、日本でのCOP10(生物多様性条約第10回締結国会議)開催を契機に、ボランティア団体や地元学校等とともに身近な生物相の調査や観察会を積極的に開催するなど生物との共生にも観点をおいた里山づくりを進めていきます。

また、「緑の募金」事業に基づく助成事業の充実をはかり、府民や企業ボランティアなどによる市街地の緑化や、森林の整備、教育施設における木材利用の促進などを展開し、緑化活動及び里山の保全活動等による地球温暖化防止のための府民運動を推進します。さらには、「緑の募金でふせごう地球温暖化」をスローガンに募金運動を更に推進するとともに、里山整備等をはじめとする生物多様性への取り組みに寄与できるよう森林整備事業の充実強化を図ります。

大阪府地球温暖化防止活動推進センター

大阪府地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化防止への取り組みに対する府民の参加を促すため、地球温暖化防止活動を実践する地球温暖化防止活動推進員、環境NPO、地球温暖化対策地域協議会などが取り組む活動への支援を行います。

また、家庭分野のCO2排出削減を目的とした事業に取り組むとともに、大阪府と連携した「大阪版カーボン・オフセット制度」の推進、その他のCO2排出抑制事業を実施します。

大阪府リサイクル社会推進会議

住民団体・事業者団体・府・市町村等で構成する大阪府リサイクル社会推進会議は、「ごみ減量化・リサイクルアクションプログラム」に基づき、住民・事業者・行政がそれぞれの役割分担の下に、リサイクル社会の推進に向けたパートナーシップによる取り組みを進めます。

平成22年度は、共通テーマの「低炭素社会への転換」及び「循環型社会の構築」への取組強化の認識のもとに、構成団体を中心に簡易包装・マイバックの持参の推進やエコショップ制度の普及など、共通行動メニューに基づく事業を実施するとともに、リサイクル社会を推進するための各種調査や地域に根ざした啓発活動などに力を入れて取り組みます。

大阪自動車環境対策推進会議

大阪における自動車排出ガスによる大気汚染や自動車騒音等の自動車公害対策や、地球温暖化対策に資する自動車からの二酸化炭素排出抑制対策について、官民が一体となって、総合的な施策を推進していきます。

22年度は、21年度に策定した「大阪エコカー普及戦略」に基づき、環境にやさしいエコカー(ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車、クリーンディーゼル乗用車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車、水素エンジン車、超低燃費車)を普及促進します。

また、物品の配送に低公害車等を使用する「グリーン配送」について「大阪グリーン配送推進運動」を推進することにより、荷主、発注者と物流事業者の協同による取り組みの強化・拡大を図ります。

17年度に策定した「大阪エコドライブ推進方針」に基づき、環境にやさしい運転方法であるエコドライブの認知度の向上、推進会議構成員による実践、キャンペーンを実施し、「エコドライブ」の普及拡大を図ります。

さらに、エコカーの普及、エコドライブ、公共交通機関の利用促進、流入車規制などについて、府民、事業者に対する啓発活動を行います。

大阪美しい景観づくり推進会議

大阪美しい景観づくり推進会議は、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを、より実効性あるものとして推進していくために、共通目標の設定や情報交流、ネットワーク化などによる、景観づくりの取り組みを進めています。

平成22年度は、玄関先をさわやかに運動や景観づくり研修会等の取り組みにより、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進していきます。

事務局では、引き続きグリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけていきます。

3 平成21年度の府民会議主体の活動の報告

21年度の新規事業として、府民会議構成団体の会員等220名の参加を得て、家庭で行う身近なエコアクションに挑戦し、実践したことをチェックしてもらう「エコチャレンジ事業」を実施したほか、グリーン購入の普及・拡大と、グリーン購入へのさらなる理解を深めていただくことを目的に「グリーン購入セミナーin大阪」を開催し、約130名の参加を得ました。

グリーン購入に関しては、その実践を通じて、府民や事業者が環境の関わりを認識し、環境に配慮した生活・経済活動を実践する契機とするため、10月に、3,567店舗の参加を得て、「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施するとともに、店舗における環境配慮型商品の取扱状況等を調べ情報発信するため、10月から11月にかけて、府内170店舗を対象に「グリーン購入店舗調査」を実施しました。

また、「ライトダウンキャンペーン」、「ウォームビズ」、「夏季の適正冷房と軽装勤務」、「省エネラベルキャンペーン」、「ストップ地球温暖化デー」等の各種キャンペーン等について、府民会議構成団体を通じて会員等への周知を図り、その積極的な参加を促しました。

他にも、他の模範となるような環境保全活動に取り組んでいる個人・団体・事業者に対して「おおさか環境賞」を授与し、顕彰しました。

さらに、環境保全活動に取り組んでいる団体に対し補助金を交付する「大阪府環境保全活動補助事業」について、補助対象案件の審査に協力しました。

こうした府民会議や構成団体等の活動については、電子広報誌「かんきょう夢広場」を年4回発行して紹介しました。

(1)エコチャレンジ事業の実施

身近に実践できるエコアクションがCO₂排出量の削減につながることを実感してもらうために、エコアクション項目を記載したチェックシートを府民会議構成団体の会員等に配布し、平成21年6月中の任意の7日間において実際に実践してもらった項目をチェックしてもらう「エコチャレンジ事業」を実施しました。

府民会議構成団体の会員をはじめ220名の参加があり、その結果については府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の平成21年10月号に掲載して公表しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/challenge.html>

取り組み項目	実施率(%)
人のいない部屋の照明はこまめに消灯する。	92.7
テレビを見ないときは消す。	87.5
買い物にはマイバックを持参し、省包装のものを選ぶ。	66.8
買い物では、繰り返し使えるリターナブル瓶の商品を選ぶ。	24.7
車を運転するときは、加速の少ない運転をする。	23.1
主電源を切つてこまめに待機電力を節電する。	45.9

冷蔵庫の扉は開けたらすぐ閉める。	90.3
料理の際に炎がなべ底からはみ出ないようにする。	83.1
洗濯をするときはまとめて洗濯する。	70.8
お風呂は間隔をおかずに入り、追い炊きをしないようにする。	56.4
シャワーのお湯を出しっぱなしにしない。	83.0
風呂の残り湯を洗濯に使う。	83.0

(2)「グリーン購入セミナー in 大阪」の開催

『グリーン購入によるCO₂削減 - 2020年(90年比)CO₂ 25%削減に向けて -』をテーマに、大阪を中心とした近畿地域の企業、行政、民間団体を対象に、グリーン購入の普及・拡大と、グリーン購入へのさらなる理解を深めていただくことを目的に開催しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/seminar.html>



開催日	平成22年1月20日
会場	大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
参加者	約130名
主な内容	<p>基調講演「“グリーン購入”に人類の未来がある」 東京大学 生産技術研究所 山本良一教授</p> <p>事例発表 阪急阪神ホールディングス株式会社 「阪急阪神ホールディングスグループの取組み - グリーン購入大賞受賞事例を中心に -」 シャープ株式会社 「“小学校環境教育”の取組み」 スプライン・ネットワーク株式会社 「グリーンITでエコロジーとコスト削減の両立」 大阪府 「大阪府におけるグリーン購入の取組み」</p>
その他	豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府、環境省、グリーン購入ネットワークの共催で実施しました。

(3)環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

平成21年10月に、消費者に環境にやさしい消費行動(グリーン購入)を呼びかけ、環境に配慮したライフスタイルの実践を促すため、スーパー・生活協同組合等の店舗において環境にやさしい買い物キャンペーンを実施しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html>


実施期間	平成21年10月1日～10月31日
参加店舗	スーパー・生協・百貨店・商店街等 3,567店舗
主な内容	共通の取り組み キャンペーンの統一的な取り組みを設定し、各店舗で実施しました。 ポスターの掲示、環境に配慮した商品等の積極的な販売、包装の削減、はかり売りの実施、買い物袋の持参 等 店舗独自の取り組み 各店舗の状況に応じて、特設コーナーの設置など、グリーン購入の普及に即した独自の取り組みを実施しました。
その他	豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府、大阪府リサイクル社会推進会議が、環境省、経済産業省、3R活動推進フォーラム、全国都道府県との共同キャンペーンとして実施しました。

(4) グリーン購入店舗調査の実施

府内のスーパーや生活協同組合等における環境配慮型商品の取扱い状況等の調査を行い、調査結果の情報発信を通じて府民の環境配慮行動を促進するとともに、グリーン購入に関する知識を学習することにより、調査員自身のグリーン購入の実践を促すため、「グリーン購入店舗調査」を実施しました。

その結果については、府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の平成21年12月号に掲載して公表しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/tenpo.html>

調査期間	平成21年10月1日～11月13日	
調査店舗	調査店舗数 170店舗	
調査内容	環境配慮型商品の取扱い状況、環境配慮型商品の販売方法 等	
調査方法	豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の会員が店舗を訪問する実地調査を行うとともに、文書によるアンケート調査を実施しました。	

(5) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動や、構成団体が取り組んでいる活動等について紹介、広報等を行うため年4回電子広報誌「かんきょう夢ひろば」をHPに掲載する形で発行しました。

(参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html

(6) 各種キャンペーンへの参加等

地球温暖化を防ぐということに気づくシンプルな行動として、ライトアップ施設や家庭・職場の電気を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房(政府・自治体 19、民間 20)を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「ウォームビズ」の取組み、事務所や会議室の適正冷房(28)の徹底や、軽装の奨励などにより、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みについては、府民会議構成団体を通じて会員等への周知と積極的な参加を促しました。

また、家庭からのCO₂排出量を削減するため、省エネ情報を提供する「省エネラベル」を商品に貼付して家庭における省エネ型家電製品の導入を誘導する「省エネラベルキャンペーン」や、毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」等について、府民会議構成団体を通じて会員等への周知を図りました。

(7)第13回「おおさか環境賞」の実施

この賞は、地球温暖化防止や自然との共生、快適環境の創造など、自主的かつ積極的に他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組み、顕著な功績のあった個人・団体・事業者を「豊かな環境づくり大阪府民会議」が大阪府と共同で表彰するものです。平成21年度は以下の方々が受賞され、6月30日に大阪府公館において表彰式を行いました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/prize.html>



<大賞> 府民活動部門 大学生協 大阪・和歌山センター 学生委員会

大学生協の学生委員会が中心となってプロジェクトを立ち上げ、内側にフィルムが貼られ外側の紙箱部分をリサイクルできる弁当容器の「ホッかる」の回収を進めるため、回収率アップの取り組みを競い合うペナントレースを実施したり、回収した「ホッかる」の紙部分を再利用して、大学生活で使える文具(ファイル・写真立て等)を企業と協力して開発するなど、自主的でユニークな取り組みを実施されている点が評価されました。

今後も継続的に行われ、大学生協のネットワークを活用して活動の輪が広がって行くことが期待されます。

<準大賞> 府民活動部門 大阪いずみ市民生活協同組合

1日エコライフ・チェックシートを全組合員に配布し、そのシートが100枚提出・回収されるにつき1本植樹を行う活動や、夏至及び七夕にライトダウンを行う呼びかけなどに取り組みられました。「いずみの森」での植樹では、自然体験企画なども取り入れるなどの工夫もされています。

省エネ・地球温暖化防止活動と植樹を連携させたユニークなアイデアと、延べ1万4440家族・4万2368人が参加し、CO₂削減量27.3t、148本の植樹を実現した実績が評価されました。

<特別奨励賞> 府民活動部門 箕面の山パトロール隊

箕面の山の13コースにおける毎月のクリーンハイキングや、年1回の大掛かりな大清掃大作戦を実施されています。また、募集した小学生の絵画等を不法投棄防止看板として設置したり、自然情報を地元FM放送やホームページで提供されたりしておられます。

近隣市町村を始め、府域全域から年間2千数百名の参加を得ている活動の実績が評価されました。

<特別奨励賞> 府民活動部門 堺市立上神谷(にわだに)小学校

校区内で生息が確認された国内希少魚「カワバタモロコ」について、専門家の指導を得ながら校内で人工繁殖実験を始め、約100尾の繁殖に成功し、専門家の意見を聞きながら地域のため池に放流されました。また、地域の自然調査や校内に田んぼを作り、稲を育てるなど幅広い環境学習活動を展開されています。

カワバタモロコの保護を契機に始めた環境学習活動が、地域の自然を守る取り組みへと発展している点や、保護者、自治体、地元営農組合、NPO等の協力を得て幅広く交流し、活動されている

点が評価されました。

< 特別奨励賞 > 事業活動部門 大阪ガス株式会社

エネルギー環境教育の一環として、クイズ形式の「エコエンジェルセミナー」等の3つのプログラムを用意し、学校や企業等への出張授業をされており、受講者は2007年度で1万7000人に上っています。授業では、小学生向けには映像教材を利用したり、社会人向けには地球環境問題や国内外の政策について話題提供を行うなどの工夫をされています。

また、ガス科学館や姫路ガスエネルギー館では、小学生から社会人まで幅広い層に対して啓発活動が行なわれ、両館の2007年度の入場者数は6万2000人に達しています。

こうした活動の実績が評価されました。

< 特別奨励賞 > 事業活動部門 パナソニックグリーンボランティア倶楽部

パナソニックグリーンボランティア倶楽部では、年間、大阪府内で2000人、全国では1万人の参加者を得て環境保全活動に取り組まれています。

大阪府内では、鶴見緑地公園等におけるクリーンアップ活動への参加や、NPO等と協力した植樹活動等を実施されているほか、門真市にピオトープを手作りして近隣の小学生の環境教育に提供したり、各地の学校ピオトープづくりの指導なども行われています。

様々な団体等と連携しつつ、多様な活動を、幅広く実施されている実績が評価されました。

< 奨励賞 > 府民活動部門

高槻里山ネットワーク

自然や森林に関心のあるボランティアで構成される団体で、高槻市北部の国有林を主フィールドとして、雑木林・竹林の間伐、散策路づくりを行い、他人が所有する竹林等でも、里山保全の立場から無償で整備されています。また、観察会や自然環境教育で里山の大切さを啓発しておられます。

生活協同組合おおさかバルコーブ

大気汚染防止の観点から廃車などの際にディーゼル車からLPG車等に切り替えたり、全店舗でレジ袋の有料化を行い、マイバック持参の啓発を行うなどの取り組みをされています。

また、配送時の商品のおろし間違いによる再配送の削減に取り組み、実施前と比べ件数を22%減少されました。

泉大津市衛生委員会

市内各校区より選出されたボランティアで構成される団体で、泉大津市内全域での清掃活動や、定期的な不法投棄監視パトロールを行うとともに、不法投棄の行われやすい場所に、啓発看板を作成し設置するなど啓発に努めておられます。

社団法人大阪エイフボランタリーネットワーク摂津支部

毎月24日を「清掃の日」として、環境美化活動に取り組んでおられます。

他にも、廃品回収時に古布を集め、寝たきり老人等のための清拭布作りを行うリサイクル運動など実施されています。

一粒会

環境美化活動として、藤井寺や土師ノリの駅周辺や西名阪自動車道のインター付近の道路等を毎月第3日曜日に清掃する活動を、10年間にわたって実施されています。

社団法人ガールスカウト日本連盟 大阪府第90団

水無瀬川において、下流のゴミ拾いや、川に生息する生き物の観察を通じ、自然との共生について学習する活動を実施されています。また、畑を借りての野菜作りを通じて「食」について考える機会を設けたり、島本版グリーンマップの作成や、町内のゴミを分別回収するなどの活動を行っておられます。

< 奨励賞 > 事業活動部門

大林組・大鉄工業・竹中工務店・銭高組・浅沼組 大阪駅新北ビル(仮称)新築工事 特定建設工事共同企業体

建設現場で発生するアルミ缶を回収・水洗いし、潰した上で換金し、そのお金で4台の車椅子を購入し、地元病院に寄附されました。

また、PCによる集中制御システムの導入等による工事用照明設備の省エネ、休憩所にミスト扇風機を設置しての冷房設備の省エネ、重機オペレーターに対する省燃費運転教育に取り組まれました。

株式会社竹中工務店 大阪本店

建築工事における工事用仮設照明について、作業する部屋のみ照明を点灯させるよう、各職種の職長がパソコンや携帯電話で部屋毎の個別制御を行い自主管理するとともに、休憩時(1日3回)に一斉消灯するようにタイマープログラムを実施された結果、従来に比べて電気使用量を約1/8に、CO₂排出量を3,010kg/月削減されました。

関西電力株式会社

「電力用SF₆ガス取扱基準」「電気事業者における排出抑制に関する自主計画」に基づき、SF₆ガスの管理、回収方法を策定し、ガス回収装置の補助装置を開発するなど、ガス回収作業に取り組んでおられます。

ガス絶縁機器の点検、廃棄時におけるSF₆ガス回収作業は年間505回に達し、2008年1月～12月までのSF₆ガス取扱量に対する回収率は98%以上、量にして59トン回収されました。

初田製作所

消火器の金属部品だけでなく、消火薬剤もリサイクルすることを可能にして、リサイクル率を大幅に高められました。回収した粉末消火薬剤を再生処理し、新品消火器の中に詰める消火剤として再利用していて、新品消火器における再生消火剤使用率は80%となっています。

また、消火器の期限切れ放置や不法投棄が発生することを防ぐため、消火器のリース事業を推進して消火器の保守・管理や、消火薬剤のリサイクルを行う循環型の仕組みを構築しておられます。

(8)平成21年度大阪府環境保全活動補助事業による活動支援

身近な地域で環境保全・創造活動を行う団体を支援・奨励するため、内容が先進的で他の団体の模範となる活動に対して、補助金を交付しました。

平成21年度は、11件 2,437,667円の補助金を交付しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html>

[平成21年度補助対象事業一覧]

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
ひらかた地域活動づくりネットワーク	ワークショップ:持続可能な校区コミュニティ環境の立体模型づくり	参加者が身近な校区コミュニティの持続可能な社会のありかたに関心を持つため、調査、まちあるき、グループワークを取り入れたワークショップを実施する。具体的には、昨年度に作成した校区立体模型に樹木の植生を加え、CO2吸収量を柱で表す。この模型を元にCO2削減のためにできることを話し合う。将来人口推計を模型に加え、老人が憩える街づくりについて話し合う。	主に校区住民	H21.6～H22.3	枚方第二小学校区内

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
特定非営利活動法人 大阪府民循環型社会推進機構	廃食用油再生バイオディーゼル燃料製造時における、有用バイオマスとしての副生グリセリン・洗浄廃水の利活用等についての研究	バイオディーゼル燃料精製時に排出する廃液が環境に与える負荷問題の解決のため、廃食用油回収イベント、廃食用油再生団体への支援、副産物の利活用研究、研究成果の啓発を実施する。	府民	H21.5.4～ H22.3.31	千里万博記念公園
特定非営利活動法人 インクルージョンプログラムラボラトリ	竹林バイオマス資源の多目的活用を手法とした環境課題解決手法の構築に資する研究	多様化する環境諸課題の解決に資するため、間伐竹の堆肥化調査、植物生育への影響調査、研究活動の啓発を行う。	府民	H21.4.1～ H22.3.31	千里万博記念公園
特定非営利活動法人もく(木)の会	木育による森林の二酸化炭素吸収機能啓発事業	近くの山の木を使うことで山の間伐が進み、自分たちの町の環境をよくすることについて子どもたちに理解してもらうため、森の整備体験やミニチュアハウスを親子で作る体験セミナーとワークショップを開催する。	小学生とその保護者	H21.8.23 H22.3	ウッドベースかわちながの
かたの環境フェスタ市民会議	「環境フェスタin 交野2010」開催	地球環境問題、身近なごみ問題、里山保全などの自然環境問題など、様々な環境問題について広く市民に啓蒙・啓発し、参画団体間の交流を図るため、環境フェスタとして各種団体の活動紹介、子供たちへの体験学習などを実施する。	府民	H22.2.28	交野市私市星のさといわふね
恩智川水辺再生会議	水辺再生に向けての環境教育・啓発事業	恩智川を元の自然環境に復活するため、小中学生・地域・行政と協働で川の浄化、水質調査、水辺の体験教室、小学校のホタル池作りへの協力・指導、エコッキングやアクリルたわし・廃油キャンドルの体験講座等、啓発活動を実施・継続する。	近隣小学校、周辺府民	H21.4.1～ H22.3.31	東大阪市
NPO法人まどり	大阪府の森林と里山を身近に親しみ、次世代につなげる自然環境を考えるプロジェクト	森林や里山の保全と育成の重要性を都市生活者に理解してもらい、持続可能な活動へと展開することを目的に、見学会、木工クラフトづくり、植林などを行う。	主に府民	H21.10 H21.11 H22.3	交野市、河内長野市

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
西淀自然文化協会	「市民参加による花川干潟ビオトープ調査～春夏秋冬～」	赤潮・青潮・貝毒、漂着ゴミ、行政・市民・他機関との連携などの問題解決に向けた実践活動として、市民参加による花川干潟ビオトープ調査を年4回実施する。実施に際しては、専門家の指導のもと、参加者一人ひとりが大都会のど真ん中での自然再生をチェックし、その価値を伝えるメッセンジャーとなれるようにする。調査結果は出前教室や他の普及啓発活動で紹介し、その結果をHP・出前教室・他の普及啓発活動で紹介し、市民の理解を求め、より充実した環境保全活動に繋げる。	府民	H21.4.1～ H22.3.31	大阪市西淀川区花川 花川干潟
自然環境センター	自然エネルギーの普及、特に太陽光発電の推進	再生可能な自然エネルギーの普及のため、太陽光、風力、バイオマス等について、学習講演会、個別相談会、リーフレット作成、DVD 増刷を行う。	主に府民	H21.4.1～ H22.3	大阪市、枚方市、関西圏
一般社団法人 あだーじょ	地産地消のカーボンオフセット普及事業	地球温暖化防止と経済性を両立させ、温室効果ガスを削減していこうと実践する地球にやさしい人材を育成するため、カーボンオフセットを知る講座を開催する。	府民	H21.9.1～ H21.10.31	大阪市立総合生涯学習センター
特定非営利活動法人 日本ウミガメ協議会	ウミガメは大阪府内の砂浜でまだ産卵しているのか？ - 砂浜の現状と産卵の可能性 -	かつてアカウミガメが産卵していた大阪府内の砂浜の監視・保護体制を構築するため、産卵可能な砂浜を抽出し、基礎資料を得る。具体的には、地形図などから砂浜の位置などを確認し、実際に地形などを記録し、産卵可能な砂浜を抽出し、分布図を作成する。	-	H21.8～ H22.1	大阪府内の砂浜

4 平成21年度の構成団体の活動の報告

豊かな環境づくり大阪府民会議を構成する府民団体、事業者団体、関連団体等が平成21年度に取り組んだ実践活動について、下記のとおり報告がありました。

各団体が取り組んだ活動の具体的な内容については、HPに府民会議構成団体が取り組む31の重点行動テーマごとに分類して掲載しています。

(<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html>)

各構成団体の活動実績を、府民会議構成団体が取り組む31の重点行動ごとに見ると、「グリーン購入の推進」では、16の構成団体が、グリーン購入の実践をはじめ、グリーン購入についての啓発、買い物袋(マイバッグ)持参運動の実施、環境の配慮した商品の開発・販売などに取り組みました。

「ごみ減量化・リサイクルの推進」では、13の構成団体が取り組みを行いました。府民団体では構成員の一人ひとりがごみの減量化や分別廃棄などの具体的な実践行動に取り組み、事業者団体では、簡易包装による包装材の減量化、各店舗における廃棄物の分別回収等のリサイクル運動の実践などに取り組みました。

「家庭や学校・職場での省エネの推進」では、13の構成団体が取り組みを行い、6団体が事務所等におけるスイッチオフに取り組み、5団体が夏季の適正冷房・軽装を行うエコスタイルの実践に取り組みました。

「自動車の使用の見直し・エコドライブの推進」では、9の構成団体が、エコドライブやアイドリングストップの実践、ノーマイカデー等における公共交通機関の利用促進、低公害車の普及啓発などに取り組みました。

「自然環境の保全とふれあいの推進」では、10の構成団体が、森林や里山の保全、河川の浄化や美化、生態系の保全、イベント実施時のごみの持ち帰りや環境配慮の徹底などに取り組みました。

「緑化の推進」では、4の構成団体が取り組みを行い、植樹や緑化運動などに取り組みました。

その他、府民会議構成団体が実施した啓発イベントやセミナー・研修会等に、延べ約5万9000人の参加がありました。

府民団体

(社)大阪エイフボランティアネットワーク

(社)大阪エイフボランティアネットワークでは、公德心の高揚と環境美化運動を柱に、清掃活動を実施するとともに清掃活動推進週間啓発活動を各支部で実施しました。

また、ゴミ減量運動の推進は、各支部で月1回以上、行政やこども会等と協力して分別収集や

お買い物袋持参運動を推進するとともに、省エネルギー、資源愛護、リサイクル運動、グリーン購入啓発運動等や「ストップ地球温暖化デー」の啓発運動を推進しました。

公害の追放に向けては、6月5日の「世界環境デー」並びに環境月間行事として各支部ごとに市町と連携し、清掃活動、ゴミの不法投棄防止のパトロール等を実施しました。また、きれいな水を取り戻す運動、廃食用油回収運動、瀬戸内海をきれいにする運動に参加しました。

そのほか、機関紙を通じて啓発に努め、地域ぐるみの活動として、実践活動を推進しました。

(財)大阪府子ども会育成連合会

- 1) 子ども会の日常活動として、地域活動としてリサイクル(廃品回収)活動や清掃活動を行いました。
- 2) 子ども会活動の中で、子ども達の自然体験活動を奨励・実施しました。
- 3) 事務局運営において、「クールビズ」への対応を行いました。

<啓発活動>

(社)全国子ども会連合会推奨の「MOTTAINAI」キッズ植林プロジェクトを各市町村に紹介しました。

大阪府生活協同組合連合会

全国の生協で取り組む「コープみんなでエコキャンペーン」に参加しました。家庭での省エネを推進する「一日エコライフ」には、会員生協の組合員約6万人が参加し、試算では約3万kgのCO2削減の効果がありません。またレジ袋削減の取り組みでは行政や事業者との協定を締結する新たな試みも進みました。

大阪府青年団協議会

大阪府青年団協議会は、平成21年度は、平和・人権・環境の大きなテーマの1つの柱となる運動として、環境問題に取り組んできました。青年団員だけでなく、より多くの府民の皆さんと共に、ひとりからできる身近な活動を展開・拡大していきたいと思っています。

(社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部

1987年から「ガールスカウトふれあいの日2009-みどり・環境-」をスカウト自らが企画・立案・運営・実践しています。地域の一員として調査研究した内容を展示・発表し、市民の人々に啓発しました。

グリーン購入セミナー

10月に地域の店舗をまわって、「環境に配慮した商品の販売」についてのアンケート調査に協力。調査結果を公共の場で発表したり、ゲーム化して伝えることにより、消費者の視点での取り組み方についても地域の人々に啓発できました。

マイバッグ持参運動

マイバッグに代わる「ふるしきの活用」を学び、地域で実践し啓発しました。

エコイベント運動

節水・ダイオキシンの減量・ゴミの堆肥化など環境保全を考慮したキャンプを実施しました。

ごみ減量化推進運動

難波の宮清掃活動を2ヶ月に1回行い美化に努めました。また、地域の川をきれいにするため、地域浄化に努め、ポイ捨てが川の汚染につながることをPRしました。

緑化の推進

里山の保全活動を継続して実施しました。木の成長、雑木の伐採の必要性を実感しました。

エコキャップ収集活動

府民会員、一般の人々に呼びかけてペットボトルキャップを収集し、焼却処分することなく再資源化し、CO₂の削減からの売却益によって得られるお金でポリオワクチンを購入する活動を実践してました。

国際ソロプチミスト大阪

エコバックを会員に販売したおかげで、皆様ハンドバックに入れていただいています。エコチェック（エコチャレンジ事業）では、会員が忘れかけていたことを再度思い出して頂くことができました。

国際ロータリー第 2660 地区

国際ロータリー第 2660 地区は、86 クラブ、4,100 名余の会員で構成されています。環境問題を最優先事項の一つとしてとらえております。

21年度は、

グリーン購入の推進を通年行いました。

世界環境デー(6/5)/環境月間の運動への参加を行いました。

環境問題の啓発・情報提供を実施しました。

なにわの消費者団体連絡会

構成団体共通のテーマとして出来ることを考え、グリーン購入の推進・買い物袋持参運動、商品購入の際の簡易包装によるゴミの減量と、家庭でのスイッチオフの徹底、公共交通機関や自転車・徒歩を利用するの自動車使用の見直しを啓発してまいりました。近年は環境家計簿の記帳、エコライフの点検などを活動に取り入れたり、自然環境の保全とふれあいの推進につきましても力を入れました。また、廃家電のリサイクルについては料金や輸送費について勉強してまいりましたが、リサイクル取り扱い品目も多くなり時代に沿ったさらなる学習が必要との思いを強くしました。

都市農業を守るという観点から地産地消にも取り組み、また大阪湾の環境について、大阪湾の魚についても広く座学・見学を行いました。

(社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会

(社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会では、事業実施時には、大阪府下各地の青年会議所にも環境配慮を呼びかけました。

日本ボーイスカウト大阪連盟

当団体は、野外活動を中心とした活動のため、府民会議で提唱する各項目については、メンバー各自の生活の中での実践を指導しました。一方で、団体としての活動は、「カントリー大作戦」等のように限られたものになっているのが現状です。

そこで、府民会議提唱の方針をボーイスカウトの野外活動の場で環境配慮実践活動として取り組みました。

この中では、「ローインパクト」を活動の中心においています。

私たちが、自然の中で生活する時、その現状に出来るだけ影響を与えない（ローインパクト）に心がける配慮を学習し、実践する活動です。

日本野鳥の会 大阪

毎月の定例探鳥会（府下 20ヶ所）で、特に7月においては「定例探鳥地の清掃月間」とし、望

遠鏡のかわりにごみ袋を持参し、川、池、海の水辺や山道、公園の清掃日として取り組んできました。この行事による啓蒙により、7月以外の月でも自然とゴミ拾いをするようになりました。また、会員の意識の向上に大いに役立ちました。この行事は長く続けていく予定です。

日本労働組合総連合大阪府連合会

日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）は、「エコ・ユニオン - 環境にやさしい労働組合」をめざして、環境問題への取り組みを活動方針の大きな柱の一つとして位置づけてきました。

平成21年度は、引き続き連合が全国で展開している「エコライフ21」により各構成組織が独自の取り組みを展開しています。連合大阪の地域組織は、10月24日（土）事業所周辺や駅の周辺さらに河川でもごみの清掃活動を行い地域社会への啓発を行ないました。

ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区

例年9月と3月に大和川近隣のライオンズクラブが主体となって大和川の清掃活動をしてまいりましたが、今年度は335-B地区で呼びかけを行い、沢山のご参加を頂き大和川の清掃活動を行いました。

また、地区環境保全委員の中に市民への啓発活動として「地球温暖化防止活動」の研修を行っているメンバーがおり、335-B地区内で各クラブに対しても講習を開いて頂いています。

事業者団体

(社)関西経済連合会

ポスト京都議定書の国際枠組みに関する国際的な議論が活発化している中で、地球温暖化対策については、国際的に公平な枠組みのもと、国内対策も国民的な議論を踏まえた実現可能性のある取り組みを、国・地方公共団体・企業・国民が一体となって進める必要があります。

(社)関西経済連合会では、優れた技術で地球温暖化問題の解決に貢献することをめざし、会員企業等の有する環境・エネルギー技術・製品等に関する事例集(167件)を作成し、国際会議・見本市、海外ミッション等のさまざまな機会を通じて普及啓発に取り組みました。また、環境保全とエネルギーの大切さを学び行動する人材育成のため、大阪府教育委員会等とも連携しながら、教材提供など、次世代層向けのエネルギー環境教育活動への支援を行いました。さらに、地球環境関西フォーラム等と連携し、中堅・中小企業の環境に配慮した自主的取り組み拡大のための普及啓発活動を行うとともに、事務所等における適正冷房推進への協力を会員企業へ依頼しました。

(社)関西経済同友会

(社)関西経済同友会は、日本の経済社会の諸問題を調査研究し、提言を行うこと、併せて会員相互の交流および経営者としての自己研鑽を行っています。

平成21年度は従来と同様、関西広域機構の活動に積極的に参画しました。同機構の提唱する「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視しました。

また、グリーン購入活動の推進などについてもPR啓発活動に取り組みました。

今後は多様な環境問題について同機構の場を通じた自治体や他の経済団体との連携活動をより重視していきます。

大阪商工会議所

大阪商工会議所は会員企業の環境レベルの向上に役立つ支援事業をさまざまな形で提供してい

ます。平成21年度は、環境施策の動向や環境経営の事例を10回シリーズで紹介する「環境問題研究会」をはじめ、再生可能エネルギー活用の切り札として注目されている「蓄電池」の最新動向などを紹介する「環境推進関連セミナー」を開催し、広く会員に情報提供を行いました。

また、経営者、経営幹部や環境部門責任者等を対象に、中小企業においても押さえておくべきと思われる重要な環境法令や、それらの情報収集方法を分かりやすく解説する「中小企業のための環境法基礎講座」も開催し、今年度は環境法令の全体像を解説する「総合」編に加え、「地球温暖化」や「廃棄物・リサイクル」など、分野別に法令への対応方法を解説する「分野別」編の講座も新たに開きました。

さらに、地球温暖化対策への取り組みでは、改正「省エネ法」・「温対法」の概要や企業の対応方法を解説するセミナーを開催するとともに、経済産業省や日本商工会議所と連携を取りながら、「国内クレジット制度」の普及セミナー等の開催や、同制度推進のための中小企業対象のソフト支援事業を実施し、「国内クレジット推進協議会」、「排出量試行協議会」にも参加しました。

「夏季の適正冷房と軽装勤務」は6月1日～9月30日にかけて実施しました。適正冷房(28℃)の推進と軽装勤務の奨励は、事務局における実施だけでなく、広報誌「大商ニュース」やHPを利用して会員企業への実施呼びかけ、館内随所にポスターを掲示しPR活動を行いました。

(社)大阪府工業協会

当協会は事業者を対象としているので、それら事業者が環境問題に取り組むためのヒントを得るための学びの場を提供しました。

< 環境対策事例見学会 >

企業の環境問題への取り組みを実地に学ぶ見学会を開催、大阪でPCB処理を行っている施設の見学も行いました。

< 省エネ関連 >

21年4月の改正省エネ法施行をにらみ、近畿経済産業局資源エネルギー環境部より担当者を招き、その変更点を解説するセミナーを開催。80名を超える多数の参加者(事業者)を得、関心の高さが窺えました。

そのほか、「省エネ改善実践講座」(全4回)を開催しました。

マテリアルフローコスト会計研究会は軌道に乗り、今後も継続的に実施していきます。

大阪百貨店協会

大阪百貨店協会は、21年度の取組と致しまして、引き続き省エネルギー、ゴミの削減等の対策を通じ、地球温暖化防止問題を踏まえ、業界としての自主的行動計画を推進し、環境改善への貢献を継続するとともに、環境マネジメントの水準の向上に努めて参りました。

また、本年も「スマートラッピングの推進」として、携帯性のある環境に優しい素材で、スマートマイレジ袋を全国統一で制作し全国の百貨店で販売しました。また、レジ袋削減キャンペーンの「デパートでもマイバック」「デパートへも、電車とバス」と提唱した推進ポスターを全国で掲示しました。

また、電力使用量の1%削減目標を掲げるとともに、夏の冷房温度を全国の百貨店で4ヶ月程度にわたって緩和を実施するとともに、ライトダウンキャンペーンでは百貨店全店で取組をおこないました。

大阪府中小企業団体中央会

大阪府中小企業団体中央会は、中小企業の組合を会員として設立された団体で、大阪府や関係機関と連携して中小企業の組織化と活性化に努めています。

機関誌「大阪の中小企業」等により、省エネルギーや低炭素社会への転換の普及啓発、さらに

総会をはじめ、秋に開催した中小企業団体大阪大会においても、普及啓発活動に努めました。

日本チェーンストア協会関西支部

地球温暖化防止に向けて（店舗での省エネ設備への切り替え）

- ・環境にやさしい省エネ型店舗への移行
- ・省エネ型照明機器への切り替え、店内照明の照度基準の見直し
- ・空調のインバータ化、深夜余剰電力を活用した空調の導入
- ・冷凍・冷蔵機器等の省エネ型設備への入替

循環型社会の形成に向けて

- ・各市町村の実施する協定への参加、レジでの呼びかけ、啓発の実施（吹田市、大阪市等）
- ・容器包装の簡素化・減量化の推進（農産物等の盛り売り、量り売りの推進、トレー、レジ袋の重量削減）
- ・店頭回収の推進
- ・再資源素材を用いた環境にやさしい商品の開発、ゴミ減量に繋がる商品の調達（府下における店舗で環境にやさしい買い物キャンペーンの参加）

大阪府小売市場総連合会

平成 21 年度の各項目別の活動状況は、目標どおり達成できました。

大阪府商店街連合会

大阪府商店街連合会では、理事会、総会、役員研修会等において、「府民会議構成団体が取り組む 31 の重点行動」を周知しました。

また、会員には機関誌「府商連新聞」において広く周知啓発しました。

関連団体等

地球環境関西フォーラム

1．シンポジウム、セミナー等の市民啓発活動

- ・「世界の太陽光発電立国を目指して」と題する地球温暖化対策シンポジウム、生物多様性に配慮した企業活動のあり方についてのセミナーで、参加者と一緒に考えることができました。
- ・「持続可能な住まい方」と題するシンポジウムを開催し、自然と共生する住宅を推進することによる低炭素型の住まいのあり方について提案を行いました。

2．若者によるポスター募集事業と啓発

- ・若者を対象に「エコ・メッセージポスターデザイン」を募集し、応募作品 186 点から最優秀賞を含む 14 点を入賞作品として選出しました。入賞作品等は、きんき環境館、大阪府庁および大阪市役所において展示会を実施しました。

3．アジアとの連携強化

- ・ベトナムでの持続可能なまちづくりを目的に「日越環境ワークショップ」を開催しました。
- ・立命館孔子学院と共催して「中国環境経済政策の最新動向」リレー講座を 3 回開催しました。

- ・大阪府が実施している「大阪 - 上海 ESCO・省エネ技術交流事業」の研修生訪日研修と専門家による上海訪問に参画しました。

(財)大阪みどりのトラスト協会

大阪府内の貴重な自然を保全するとともに、自然環境の保全及び再生活動をより身近に感じてもらえるような地域における緑化や里山保全活動による地球温暖化防止、生物多様性の確保等のための取り組みを進めてきました。

特に、当協会が取り組んでいる活動が府民に見えるよう、全国紙への活動地の紹介記事掲載や身近な自然をテーマにした「シンポジウム」の開催などを積極的に行ってきました。

また、地球温暖化防止の取り組みとして、学校等における生き物の生息・生育空間に配慮した緑化保全活動及び教育施設における木材利用に対する助成等を行いました。

大阪府地球温暖化防止活動推進センター

1. 省エネ家電の普及促進

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携して「大阪省エネラベルキャンペーン」でのモニタリングに協力しました。また、省エネラベルや省エネ家電について、教材を用いて府内の環境イベント(2ヶ所)に出展し、かしこい家電製品の選択や使い方についての普及啓発活動を行いました。

2. フードマイレージの削減

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携してフードマイレージ学習教材を作成し、その教材を用いて府内の環境イベント(3ヶ所)に出展し、府民のフードマイレージへの理解を深めるとともに、買い物にかかる交通手段として、自転車や公共交通機関の利用を促進するための啓発活動を行いました。

3. みどりのカーテンの普及促進

地球温暖化防止活動推進員と連携して、各市町村で「みどりのカーテンづくり」とおした温暖化防止啓発活動を行いました。また、さらなる広がりを目指して「みどりのカーテンづくり」の事例集を教材として作成し、その冊子を用いて次年度へ向けて広報活動を行いました。

4. 自然エネルギーの普及啓発

地球温暖化防止活動推進員と連携して、「風力」「水力」「薪炭(バイオマス)」の発電装置を作成し、実際に触れることのできる学習教材として小学校への出前講座等にて活用し、自然エネルギーによるCO2の排出削減効果の意識を高めました。

5. 環境イベントでの普及啓発活動

市町村と連携して、各地域の環境啓発イベントにて地球温暖化をテーマとした啓発ブースを出展しました。

今年度出展した啓発イベントは、大阪府内13ヶ所、参加者数は約53万人に及びました。

6. 「一村一品・知恵の環づくり」事業の実施

市町村、企業、団体、推進員、メディア等と連携して、地域における地球温暖化対策の取り組みを掘り起こし、活動の更なる水平展開を図ることを目的に、大阪府内の温暖化対策の取り組みの公募を行い、大阪の代表的な取り組みを選出するための選考会を開催しました。事前の書類審査と選考会でのプレゼンテーションによる審査で、「積水ハウス株式会社 環境推進部」の『新・里山』を活用した取り組みが大阪代表に選出されました。

その後、環境省が主催する全国の選考会において銅賞を受賞しました。

大阪府リサイクル社会推進会議

平成21年度は、平成20年度に引き続き、「ごみ減量化・リサイクルアクションプログラム」の普及・啓発及び進行管理に重点をおいた取り組みを進めてきました。

アクションプログラム進捗状況調査によると、住民団体、事業者、行政において様々な取り組みがなされており、今後、それぞれの連携を強化するとともに、さらに多くの事業の具体化が図られるよう、推進方策を検討し、実施していきます。

府民会議と共催で「環境にやさしい買い物キャンペーン」及び「NO!!レジ袋デー」を実施し、当推進会議で進める「エコショップの普及促進」や「マイバック持参運動の推進」に幅広く効果がみられました。今後ともより一層の連携・協働を深め、事業を実施していきます。

大阪自動車環境対策推進会議

大阪自動車環境対策推進会議は、大阪における自動車排出ガスによる大気汚染や自動車騒音等の自動車公害対策や、地球温暖化対策に資する自動車からの二酸化炭素排出抑制対策について、官民が一体となって、総合的な施策を推進しています。

21年度は、環境にやさしいエコカー（ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車、クリーンディーゼル乗用車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車、水素エンジン車、超低燃費車）の包括的・中長期的な普及戦略を検討するため、大阪エコカー普及戦略検討部会を設置し、「大阪エコカー普及戦略」を策定しました。

また、エコカーの普及促進を図るとともに、物品の配送に低公害車等を使用する「グリーン配送」について「大阪グリーン配送推進運動」を推進することにより、荷主、発注者と物流事業者の協同による取り組みの強化・拡大を図りました。

17年度に策定した「大阪エコドライブ推進方針」に基づき、環境にやさしい運転方法であるエコドライブの認知度の向上、推進会議構成員による実践、キャンペーンを実施し、「エコドライブ」の普及拡大を図りました。

さらに、低公害車等の普及、エコドライブ、公共交通機関の利用促進などについて、府民、事業者に対する啓発活動を行いました。

大阪美しい景観づくり推進会議

大阪府内にある美しいまちなみを改めて見つめなおし、守り育てるため、また、国内外から大阪を訪れる人々に感動を与えるような、景観上優れたまちなみなどを広く知ってもらうため、府民投票等、府民の協力を得ながら平成18年度に選定した「大阪まちなみ百景」について、関係機関等への活用を働きかけました。今後、さらに活用を図り、府民と一緒に大阪の景観について考え、美しい景観づくりの推進に努めます。

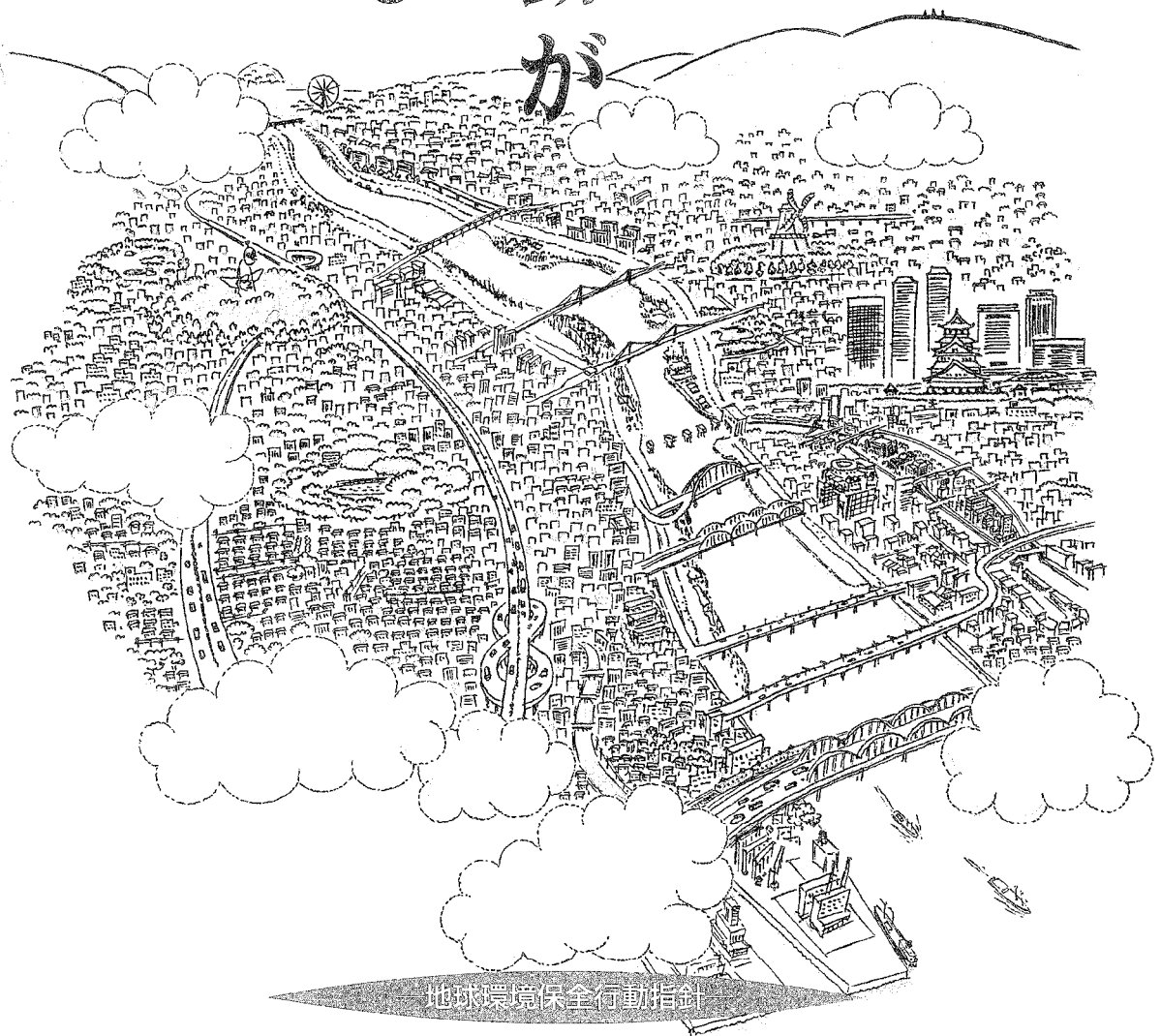
また、「まちなみと調和したすてきなサイン」、「大阪府内の歴史的な建物やまちなみ」、「都市景観の日」等のPRをホームページ等で行い府民の景観に対する意識高揚に努めました。

また、「景観サポーター」から頂いた景観づくりに関する様々な提言を、構成団体等に周知し、景観づくり活動に反映していただくよう呼びかけを行いました。

今後ともより一層、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進するとともに、積極的な情報発信に努め、「美しい世界都市大阪」の実現を目指します。

【資料編】

身近な環境
愛する心と行動が
地球環境を守る



はじめに

あふれるような緑、鳥やトンボたちが自由に飛び交い、きれいな川には魚が泳いでいる、多くの生命が輝いている環境。それは、私たち人間にとっても、心癒い豊かな環境です。大都市に生活する私たちも多くの生物の一員であり、自然の微妙なバランスの中で生きているからです。

私たち人間は豊かな自然の恵みを上手に利用することによって、暮らし、活動してきました。大阪は、そんな人々の営みの長い歴史を通して発展してきたまちです。

大阪ではこの100年の間に急激に都市化が進み、高度で快適な生活に、私たちは大々的に自然の恵みの中で生きていることを忘れがちになっています。そして、大量にモノが生産・消費され、ゴミとなって廃棄されるなど、私たちのいろいろな活動が、かけがえのない地球の環境を壊しはじめています。

以前、身近に見かけたメダカやトンボ、カエルが、今ではあまり姿を見せなくなっています。きれいになったように見える川も、川底が汚れていたり、川に住む生き物が産卵する場所やエサになる生物が見つからないなど、空想しにくい環境になっているのです。そして、多くの生命を育む緑も減ってきています。

でも、淀川では、ワンドにいる魚や樹り鳥、湖にそよぐヨシ原をみつけることができます。そして、秋には美しく彩られる山もあります。

私たちが受け継いだ自然の恵みを子どもたちに伝えていくために、もっと、身近な環境を愛する楽しいまちにするために、まらや暮らしを自分の意識で感じてみませんか。

そして、豊かな環境を再現し、美しい風景を守るために、大阪らしい会話を精神と具体的な行動で、できることから始めてみませんか。

歩く、みる、感じることから始めませんか。

身近なところを歩いたり、みたり、感じたりしてみませんか。そして、日々の生活をみつめてみませんか。

「環境問題なんて自分とは関係ない、自分一人で考えてもしかたがない」と、

思われるかもしれません。でも、ほんとうにそうなのでしょう。

自分のいるまちや、身近な自然がもっと良くなれば、という思いはだれもがもっているはずです。

もっと、良くするために、もう一度、身のまわりのようすや自分の暮らしぶりなど、

身近なことから振り返って、そして、みんなで考えてみませんか。

まず、自分の眼でみて、自分の感覚で、感じることから始めてみませんか。

あなたのいる
まちをゆっくりと
歩いてみませんか

- ◎家や職場のまわりを観察してみませんか
- ◎まちの中をゆっくり歩いてみませんか
- ◎夜空を眺めてみませんか

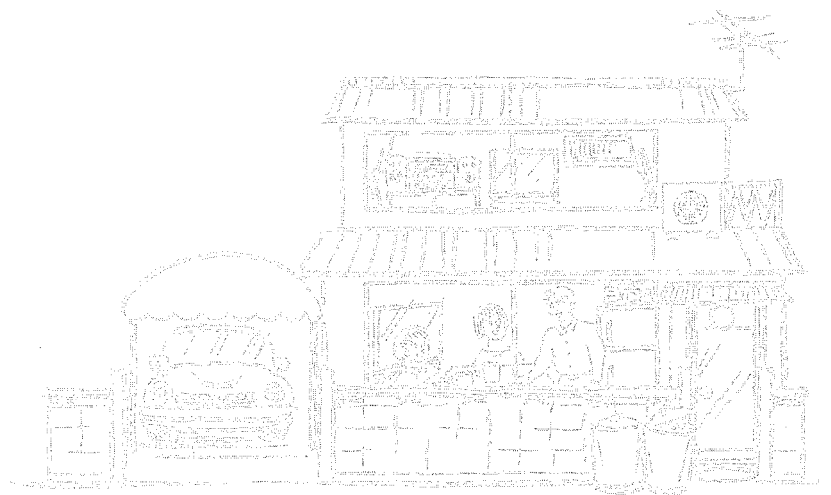
身近な自然に
みれてみませんか

- ◎近くの川や池、海に行ってみませんか
- ◎周辺の野山をハイキングしてみませんか

暮らしや
行動スタイルを
みつめてみませんか

- ◎便利で快適な生活をみつめてみませんか
- ◎自らの行動スタイルをみつめてみませんか

あなたのまちや、身近な自然、
暮らしや行動スタイルを、
少し視点を変えて眺めてみませんか。





身近な環境はどのようにみえますか。 暮らしや行動スタイルはどうですか。

見られたまちや公園、いつもどおりの生活。
でも、少し気分や視点を変えて身の周りのようすをみると、
いろんな新しい発見や疑問がでてくるのではないのでしょうか。
知らず知らずに見過ごしていることはないですか。

近所や公園 をどのように見るか

- 街なみや家なみはどうですか
- 並木道や生け垣はありますか
- 電柱や看板はどうですか
- 交通渋滞や不法駐車はありますか
- ゴミや空き缶が落ちていませんか
- においや音はどうですか
- 星座はいくつみえますか

身近な自然は どのようにみえますか

- 近くの公園や野原はどうですか
- 畑や田んぼのあぜ道、水路はどうですか
- 近くの山や森は秋に色づきますか
- トンボやチョウ、ホタルはみつけられますか
- どんな鳥や魚がいますか
- 川や池のそばに近づくことができますか
- 川や湖の色は何色ですか
- 自然の砂浜や磯はありますか

私たちはいろんなことでまわりの環境に影響を与えています。
例えば、何気なく使っているモノでも、それを作るとき、運ぶとき、
捨てるときにおきるいろんなことを考えてみましょう。

暮らしや 行動スタイルは どうですか

- モノやエネルギー、水を大切に使っていますか
- 近くへ行くのに自動車を使っていませんか
- ゴミにならないモノ、環境にやさしい商品を選んで買っていますか
- 資源の回収やリサイクルをしていますか
- 適正な包装にしていますか
- 油を直接、台所の流しに捨てていませんか
- 環境にやさしい製品づくりやサービスをしていますか
- 環境にやさしい活動に参加していますか
- 環境教育などに取り組んでいますか

何か新しい発見や疑問が湧きませんか。
どのように感じましたか。





どうあればいいと息をしますが。

子どものころや昔のようす、いろんなまちや自然のようす、
思い出したり、くらべてみるうちに、
「まちや身近な自然がこうだったらいいな」、「これから、こんなことを始めよう」など、
いろんな思いに気付く人が多いのではないのでしょうか。

こんなまち だったら

- 気持ちのいい楽しいまち
- もう少しゆとりのあるまち
- 人に迷惑をかけないまち
-

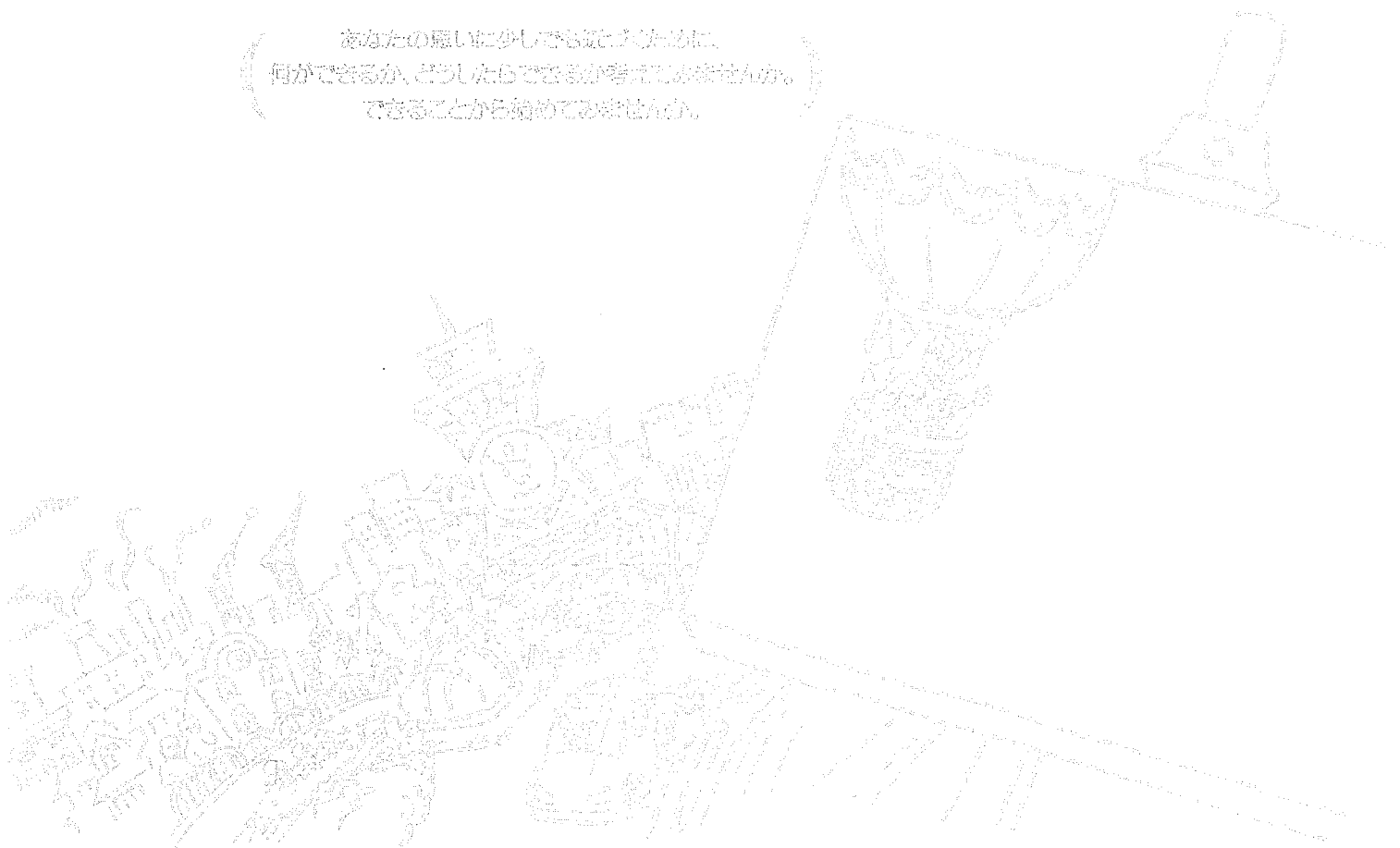
こんな自然を 自然が守るまち だったら

- モノや水、エネルギーをもっと節約できたら
- ゴミを減らしたり、リサイクルがもっとできたら
- 環境にいいことをみんなで行えたり、始められたら
.....

こんな身近な 自然があったら

- 小さな自然の営みを感じられたら
- 楽しく遊ぶ自然の姿を楽しめたら
- 自然のやすらぎを感じられたら
.....

あなたの思いに少しでも近づけるために、
何ができるか、どうしたらできるか考えてみませんか。
できることから始めてみませんか。



私たちはこんなことに取り組んでいます。

環境を良くするために、いろんな取り組みが始まっています。
私たちが取り組んでいる環境にやさしい行動を中心にまとめてみました。

美しいまちづくりを 進めています

- 近くの公園の掃除をしています
- 空き缶を拾い集めています
- 捨てられた自動車の問題について調べています
- 違法駐車をなくすよう取り組んでいます
- 自動車使用の合理化を呼びかけています
- 美しい景観づくりを進める運動をしています

自然を大切に しています

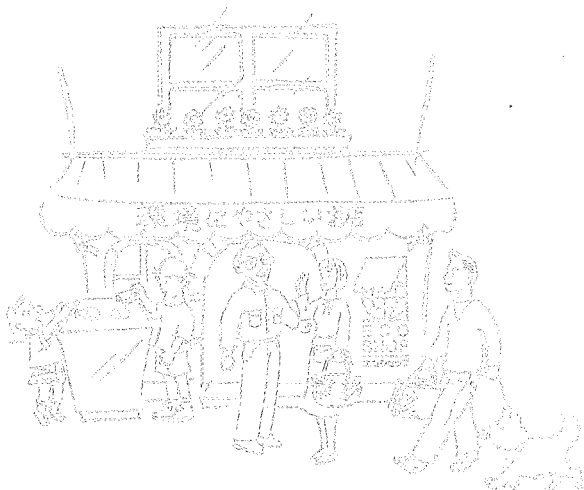
- 花や緑を植えています
- 野鳥の観察など野外で自然への理解を深めています
- ブナ林や貴重なチョウを守るためにトラスト運動を進めています
- 貴重な自然を守るために、データの収集をしています
- 河川浄化のための活動を進めています
- 環境にやさしい農業に取り組んでいます

暮らしや 行動スタイルが自然 にやさしいです

- 古紙回収などのリサイクルを
実践しています
- 包装紙・トレイなどのゴミ問題
に取り組んでいます
- 簡易包装を進めています
- 再生品の利用を進めています
- 節水や節電を進めています
- エコマーク商品や低公害車の
購入を進めています
- 環境にやさしい商品を販売する
エコショップを展開しています
- 社内で環境管理や環境監査に
取り組んでいます

行動の態度 を広げています

- 取り組みや調査結果をリポ
ートし配付しています
- シンポジウムの開催など啓発
活動をしています
- 子どもたちが遊びを通じて環
境を学習できる機会をつく
っています
- 環境教育の指導者育成や従業
員教育をしています
- 情報交換をしています
- 草の根レベルの活動を支援し
ています
- 地域の活動と連携しています
- 国際的な交流や協力などに取
り組んでいます



いろいろなことを、もっとたくさんしていきたいのです。
「暮らしや自然、暮らしや行動スタイルがもっと自然にやさしい」
との願いを実現するために、
みんなと一緒に取り組んでいきませんか。



みんなで取り組んでいきたいと思います。

一人でもできることがあります。

例えば、環境を考えた日常の買い物や生活の仕方などです。

そして、さらにみんなで取り組んでいけば、

もっとたくさんの方ができるとは思いませんか。

自分の 身のまわりでは

- これからやりたいこと、やって欲しいことを話しあいませんか
- 身のまわりのこと、みんなでできることを考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互いに協力しながらみんなで取り組みませんか
- もっと多くの人に参加することの楽しさを伝えてみませんか
- いろいろな行事に気軽に参加してみませんか
- いろいろな情報を広めてみませんか
- どれだけできたか、話し合ってみませんか
- 取り組んできたこと、集めた情報を将来の世代に伝えませんか

地域や 会社などでは

- 環境にやさしいサービスや商品になっているか調べてみませんか
- 生産から廃棄まで、環境にやさしい製品とは何か考えてみませんか
- 環境にやさしいサービスや製品づくりで実現できることは、すぐに実行しませんか
- 連携したらできることは、一緒に取り組みませんか
- 地域の一員として環境保全活動に参加しませんか
- 取り組んでいる環境保全活動をPRしませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境を大切にするお店や会社になれるような体制にしませんか

地域づくりでは

- 地域の人が、どのような環境を求めているか調べてみませんか
- 環境にやさしい地域がどうしたらできるか考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりを進めませんか
- みんながもっと取り組めるよう情報を広げませんか
- 環境学習や教育、啓発を進めませんか
- 地域活動やエコビジネスを支援しませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりができる体制やルールをつくりませんか

（テーマを毎年決めて、お年寄りも障害を持つ人も
子どもたちも一緒になって
みんなで取り組んでいきたいと思います。）



行動の輪を広げませんか。

取り組みの輪を大阪全体に広げてみませんか。

私たちの日々の生活は日本中の、そして世界中の人と資源によって支えられています。

そして、私たちの環境も、他の地域や世界と密接に関係しています。

日本中の、そして世界中の人の暮らしや環境も、大阪と同じように大切なものです。

それぞれができることを、お互いに協力しながら取り組んでみませんか。

取り組みの輪を 大阪全体へ 広げてみませんか

- 地域の人やお店や会社、グループが一緒になって取り組んでみませんか
- 取り組みの輪を、地域から市町村全体に、そして大阪府全域に広げてみませんか
- いろいろな取り組みを一つの大きな方にして、豊かな環境都市大阪をつくっていきませんか

さらに、日本中の、 世界中の人と 取り組んで みませんか

- 日本中の、世界中の人がどんな取り組みをしているか学んでみませんか
- 大阪でやっていることを知ってもらいませんか
- 協力してできることは何か考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互い協力しながら取り組んでみませんか

いどんな地域や国々の人、グループ、企業、自治体との出会いでも、まずは相手のことを知り、自分たちのことを知ってもらうことが第一歩です。その中から、新たな輪を広げていきたいと思います。



みんなの行動が地球環境を守ります。

「お月さんが笠をかぶると明日は雨」、「なすびの豊作は渾の豊作」、「木のてっぺんの柿は鳥の神さんに」。かつて日本では、いろんないいつたえやことわざで自然の仕組みを教え、人々は自然の循環を上手に利用することで豊かな自然と共に暮らしてきました。そして、モノの命を大事にし、恵み深い自然、恐ろしい自然を日々の生活に感じていました。

現在の私たちは、どうでしょうか。何気なく読んでいる新聞や雑誌、おいしくいただいている食卓、快適なドライブ。豊かな生活を支えるための生産活動や流通。それらに使う資源やエネルギーの多くは、世界中から大坂に集められたものです。

何気なく送っている生活や活動によって、世界の入々の暮らしや、森林や海動物などの生命に大きな影響を及ぼすだけでなく、将来の世代にも影響を与えると心配されています。昔の生活で大切にされていたもの、時間のゆとりや自然の豊かさ、人間関係の絆やかさ、そういうことが、本来の豊かな生活だということを、もう一度、思いをおしてみませんか。今までどおりの生活を送っているのは、私たち人間が生活できる地球ではなくなるかもしれません。

身近な環境を、自分の眼でみて、感じる。暮らしや行動スタイルをみつめる。そして、新しい発見や疑問に気付くことで、環境を良くしていくために、暮らしや行動について、できることから具体的に取り組みを始めていく。そんな、小さな取り組みが積み重なって大きな力となり、地球環境を守ることになると思っています。

————— 小さな行動の一つひとつから地球にやさしい 循環都市・大坂 —————
————— 身近な環境を愛する心と行動 その輪の広がりから地球環境を守る —————
————— 閉ざされた地球 その豊かさを引き継ぐ純潔な シンプルライフ —————

私たちは、今後、この行動指針をもとに目標を決め、
その実現のために具体的な行動計画をつくって、
実践的な取り組みを始めていきます。
みんなの行動が地球環境を守ります。



豊かな環境づくり大阪府民会議

大阪 21 世紀の環境総合計画(概略)

～循環型社会をめざした環境都市づくり～

計画の理念(方向性)

地球環境問題や有害化学物質問題、自動車公害など 21 世紀に残すことになった環境上の「負の遺産」の解決に向けて取り組みます。

持続的な発展が可能な社会にするため、「循環型の社会づくり」をめざします。

・環境に配慮したライフスタイルや事業活動に変革していく取り組みを行います。

府民、事業者、環境 NGO・NPO そして行政がパートナーシップをもって環境保全に取り組みます。

府は環境配慮に率先して行動し、施策の隅々まで環境配慮を優先します。

計画の期間

21 世紀の第 1 四半期(概ね 2025 年)を見通しつつ、2010(平成 22)年度までの計画です。

<各主体の基本的な役割>

府民

自らも日常活動において環境への負荷を増大させていることを認識し、豊かさや利便性を優先する価値観を見直す必要があります。あらゆる世代の人々が性別や職業などにかかわらず相互に触発しあい、自動車への依存や大量消費・大量廃棄型のライフスタイルを改め、環境をよくする行動に自発的・積極的に取り組むことが重要です。

事業者

経済社会活動の中で大きな位置を占め、これまでも環境に大きな負荷を与えてきたことを自覚し、より一層環境負荷の低減に取り組むことが必要です。

また、資源やエネルギーの浪費を避け、廃棄物の減量化・リサイクルなど環境への負荷を総合的に低減するよう配慮するとともに、「拡大生産者責任」の考え方にたった製品づくりを行うことが必要です。さらに、自ら積極的に環境マネジメントシステムの導入やグリーン購入などに取り組んだり、地域の環境保全活動や職員の意識向上に努めることも重要です。

NGO・NPO

環境 NGO・NPO などの民間団体が幅広い環境保全活動に自主的・積極的に取り組み、大きな成果を挙げており今後ともその役割は重要です。多くの府民や事業者に対し、幅広い環境保全の実践活動につなげる啓発者、情報を伝える伝達者・仲介者、協力関係を築く促進者として重要な役割が期待されます。

市町村

地域の実情をもとに身近な環境の保全と創造の施策を各主体と連携しながら総合的に推進することが重要です。また、自らの率先した取り組みと職員の意識向上に努めることも重要です。

大阪府

豊かな環境都市・大阪の構築に向け、すべての主体の積極的な参加と協働のもと、これまでの環境施策に加え環境保全の仕組みづくりなど、効果的な施策を実施します。

また、環境教育・環境学習を推進するとともに、府民や環境 NGO 等の自発的な取り組みの促進や活動の場づくり、その他必要な支援を行います。さらに、広域的な施策の展開や府自らの率先実行、職員の意識向上に努めます。

「豊かな環境都市・大阪」の構築

環境への負荷が少なく
良好な環境が享受
できる大阪

ゆとりと潤いがあり、
四季が感じられる大阪

環境を大切にする文化が
誇れる大阪

4つの基本方向

持続的発展が可能な循環を基調とする元気な社会の実現

「循環」

環境への負荷が少ない健康的で安心な暮らしの確保

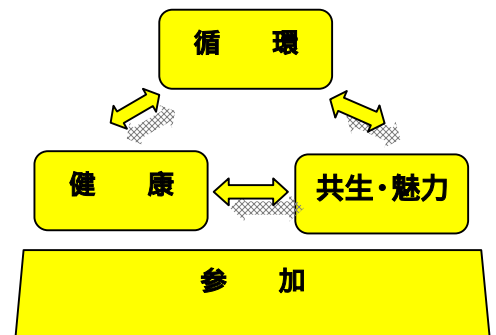
「健康」

豊かな自然との共生や文化が実感できる魅力ある地域の実現

「共生・魅力」

すべての主体が積極的に参加し行動する社会の実現

「参加」



豊かな環境都市・大阪の実現に向け、すべての主体が「参加」することを基礎として、「循環」、「健康」、「共生・魅力」で掲げる取り組みを相互に連携させて実行していかなければなりません。

基本計画

(2010年度までの施策展開の基本方向)

< 4つの基本方向別に26項目の分野で施策を展開します! >

循環

- ・廃棄物の減量化、リサイクルの推進
- ・水循環の再生
- ・環境に配慮したエネルギー利用の促進
- ・地球環境保全に資する取り組み
- ・ヒートアイランド対策

健康

- ・自動車公害の防止
- ・大気環境の保全
- ・地盤環境の保全
- ・有害化学物質による環境リスクの低減、管理
- ・環境保健対策及び公害紛争処理
- ・廃棄物の適正処理
- ・水環境の保全
- ・騒音、振動の防止

共生・魅力

- ・生物の多様性の確保
- ・自然環境の保全、回復、創出
- ・自然とのふれあいの場の活用
- ・潤いとやすらぎのある都市空間の形成、活用
- ・美しい景観の形成
- ・歴史的文化的環境の形成

参加

環境配慮のための仕組みづくり

- ・パートナーシップによる環境保全活動の促進
- ・環境教育、環境学習の推進
- ・総合的な環境情報システムの整備、環境情報の提供
- ・環境監視及び調査研究
- ・事業活動における環境への配慮
- ・経済的手法等による環境負荷の低減
- ・国際協力の推進

<総合的な視野にたって施策の重点化を図ります>

この計画に掲げた施策分野のうち、長期的な取り組みが必要な主題課題等を考慮し、大阪府では当面、次の施策を重点分野として取り組みます。

循環

廃棄物の減量化・リサイクルの推進

(目標) 廃棄物の最終処分量を 2010 (平成 22) 年度までに概ね半減させます。

一般廃棄物 102 万トﾝ (平成 9 年度) 56 万トﾝ
産業廃棄物 232 万トﾝ (平成 9 年度) 100 万トﾝ

(取り組み方向) 廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用 (3R) を推進します。

「大阪エコエリア構想」の推進 条例の制定
「ごみ減量化・リサイクルアクションプログラム」に基づく実践活動の推進

地球環境保全に資する取り組み

(目標) 京都議定書の批准・発効に向けて、CO₂ など温室効果ガスを 1990 (平成 2) 年度レベルから 2010 (平成 22) 年度までに 9% 削減させます。

57,724 CO₂ 換算 Kt (1990 (平成 2) 年度) 52,542 CO₂ 換算 Kt

(取り組み方向) 省資源・省エネや緑化の推進とともに新エネの導入を促進します。

「地域温暖化対策地域推進計画」に基づく対策の推進
ヒートアイランド (都市の高温化) 対策の推進

健康

自動車公害の防止

(目標) 2010 (平成 22) 年度までに大気汚染の環境基準を概ね達成させます。

(取り組み方向) ディーゼル車を中心とした発生源対策を重点的に進めます。

低公害な車の普及促進 事業者に対する指導の強化
交通流・交通量対策 (環状道路の整備・立体交差化等)

廃棄物の適正処理

(目標) 不法投棄等を撲滅し、大阪をきれいな環境都市にします。

(取り組み方向) 不法投棄等の撲滅に向けた取り組みを重点的に進めます。

不法投棄等の撲滅 条例の制定 (再掲)
廃棄物処理施設の整備促進 PCB 廃棄物対策の推進
最終処分場の確保 (フェニックス計画の推進)
「大阪エコエリア構想」の推進 (再掲)

水環境の保全

(目標) 2010(平成22)年度までに河川水質の環境基準を概ね達成させます。

(取り組み方向) 河川などの水質汚濁の主な原因である生活排水対策を重点的に進めます。

第5次水質総量規制の実施 下水道の高度処理水の有効利用の推進
生活排水対策(下水道事業、合併浄化槽設置等)の推進

有害化学物質による環境リスクの低減・管理

(目標) 2005(平成17)年度までにダイオキシン類の排出量(平成12年度)を約4割削減します。

(取り組み方向) 事業者の自主管理の改善による排出抑制を促進します。

化学物質に係る自主管理の改善の促進 土壌汚染対策の制度化
化学物質に関する知見・情報の充実と環境リスクの管理

共生・魅力

自然環境の保全・回復・創出

(目標) 府民が自然環境を通じて心の豊かさ、うるおいを実感でき、自然と共生する社会の実現をめざします。

(取り組み方向) 都市と自然が共生する魅力ある地域づくりに向け、地域住民の参加によるみどり環境の創出を進めます。

府立自然公園の指定拡大 公園、学校等におけるビオトープ整備の推進
森林・農空間・水辺のグランドデザインの策定 大阪エコリア構想における「共生の森」づくり
森林・里山保全活動(里山トラスト事業)の推進 エコジョーガル(水とみどりの)ネットワークの推進
市街化の緑化推進(都市公園の拡充及び屋上緑化の推進)

参加

環境配慮のための仕組みづくり

(目標) 環境に配慮したライフスタイルや事業活動を活発化させます。

(取り組み方向) すべての主体が環境配慮の行動を自主的積極的に取り組むとともに、パートナーシップをもって取り組めるよう環境配慮のための仕組みをつくります。

府民、事業者、環境NGO・NPOと行政のパートナーシップによる環境保全活動の実施(環境パートナーシップの構築)
学校における環境教育・環境学習の推進 総合的な環境情報システムの整備
環境影響評価制度の推進・拡充(戦略的環境アセスメント)
エコビジネス振興のための支援(環境技術のコーディネート)
「府庁率先行動計画」の策定及び「環境配慮のための行動指針」の普及

大阪府の環境マネジメントシステムに係る取り組み状況

平成20年度 監視・測定・評価結果

運用期間：平成20年4月～平成21年3月

監視・測定期間：平成20年4月～平成21年3月

環境保全項目		平成20年度 目標	監視・測定結果	評価結果	
地球温暖化防止	温室効果ガス排出量の削減 (平成15年度実績比で平成22年度5%減)	平成19年度実績から1%削減	2.3%削減 (310,018 t-CO ₂)	達成	
省資源	コピー用紙の両面コピー率	平成19年度実績より向上	47.1%	-	
	使用抑制 P P C 用紙使用量 (A 4 換算)	平成19年度実績より削減	110,693,878枚	-	
	グリーン調達の推進	紙 類	100%	100%	達成
		納入印刷物	100%	99.9%	未達成
		事務用品・封筒・雑貨	100%	100%	達成
		オフィス家具等	100%	100%	達成
		O A 機 器	100%	100%	達成
		家電製品	100%	100%	達成
		エアコンディショナー等	100%	100%	達成
		温 水 器 等	100%	実績なし	-
		照 明	100%	98.9%	未達成
		自 動 車	100%	100%	達成
		消 火 器	100%	100%	達成
		制服・作業服	100%	100%	達成
		インテリア・寝装	100%	100%	達成
		作業用手袋	100%	100%	達成
		その他繊維製品	100%	100%	達成
		設 備	数値目標なし	-	-
		防災備蓄用品	100%	100%	達成
	役 務	数値目標なし	-	-	
グリーン配送の推進	グリーン配送率100%	グリーン配送率100%	達成		
化学物質の適正管理	適正に管理	適正に管理	達成		
環境に配慮した公共工事の推進	建設発生土等利用率の向上 (%)	79%	69%	未達成	
	再生加熱アスファルト混合物利用率の向上 (%)	100%	100%	達成	
	再生骨材等利用率の向上 (%)	100%	100%	達成	

環境保全項目の「地球温暖化の防止」以外の目標、監視・測定結果、評価結果については、警察、府立学校は含んでいない。環境に配慮した公共工事の推進の監視・測定結果は出先機関を含む。

市町村の環境保全に係る取り組み状況

	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
大 阪 市	目 標	22	基準年度(H19年度)以下に抑制	-	-	-	-	-
	実 績	20	対19年度実績比8.9%減(403,451,617MJ)	352,490,140MJ	-	47,272,693MJ	27,978,524MJ	重油 890,259MJ
堺 市	目 標	21	55,558 ton-CO ₂ -1.0%(前年比)	99,875,658 kWh -1.0%(前年比)	38,738 ℓ -1.0%(前年比)	9,851,133 m ³ -1.0%(前年比)	370,924 ℓ -1.0%(前年比)	-
	実 績	20	56,119 ton-CO ₂	100,884,504 kWh	39,130 ℓ	9,950,639 m ³	374,671 ℓ	-
岸 和 田 市	目 標	21	対13年度比6%削減 (17,578t-CO ₂)	対13年度比6%削減 (30,570,293kwh)	対13年度比6%削減 (126,227ℓ)	対13年度比6%削減 (1,884,443m ³)	対13年度比6%削減 (118,435ℓ)	-
	実 績	20	17,178t-CO ₂	32,511,659kwh	121,896ℓ	1,620,951 m ³	127,382ℓ	-
豊 中 市	目 標	22	・温室効果ガス排出量 対12年度比9%削減					-
	実 績	20	・対12年度比9.7%減(38,983t - CO ₂)					-
池 田 市	目 標	23	対20年度比3%削減	-	-	-	-	-
	実 績	20	-	39,687,999kwh	51,539ℓ	1,288,528m ³ (CNG13,967m ³ 含)	86,466ℓ	軽油 80,329ℓ A重油13,000ℓ LPG 8,693ℓ
吹 田 市	目 標	22	-	2,496,553kWh	-	143,645m ³	40,153L	-
	実 績	20	-	2,712,382kWh	-	131,301m ³	43,917L	-

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
泉大津市	目標	20	-	15年度の水準を維持 (10,500,000kwh)	-	15年度の水準を維持 (688,000m ³)	15年度比 20%削減 (32,400ℓ)	-
	実績	20	-	対目標年度比 2.2%削減 (10,268,734kwh)	-	対目標年度比 31%増加 (900,190m ³)	対目標年度比 7%増加 (34,641ℓ)	-
高槻市	目標	22	温室効果ガス排出量対17年度比で毎年1%削減	電気使用に伴う温室効果ガス排出量対17年度比1%削減	燃料等の使用に伴う温室効果ガス排出量対17年度比1%削減			-
	実績	20	温室効果ガス排出量対17年度比1.8%削減 (26,624t-CO ₂)	対17年度比 3.9%増加 (16,433t-CO ₂)	対17年度比 9.7%削減 (10,181t-CO ₂)			-
貝塚市	目標	21	対17年度比3%削減(7,210,253kg-co ₂)	対17年度比3%削減(16,886,182kwh)	対17年度比3%削減(86,836ℓ)	対17年度比3%削減(都市ガス760,527m ³ ・LPG10,303kg)	対17年度比3%削減(53,980ℓ)	対17年度比3%削減(軽油56,853ℓ・A重油88,813ℓ)
	実績	21	対17年度比8.3%削減(6,816,469kg-co ₂)	対17年度比5.0%削減(16,544,759kwh)	対17年度比15.1%削減(75,968ℓ)	対17年度比都市ガス20.8%削減(620,381m ³)・LPG18.8%増加(12,622kg)	対17年度比2.8%削減(54,072ℓ)	対17年度比軽油14.3%削減(50,205ℓ)・対17年度比A重油13.6%削減増加(104,000ℓ)
守口市	目標	22	対11年度比10.5%削減	燃料使用量として、対12年度比5%削減				
	実績	20	-	対12年度比16.4%削減(27,933,563kwh)	対12年度比72.5%削減(52.0kℓ)	都市ガス対12年度比28.9%削減(546,620m ³)・LPG同27.3%削減(48,556kg)	対12年度比31.7%削減(45.4kℓ)	軽油: 対12年度比36.4%削減(56.3kℓ) 重油: 同91.1%削減(89.7kℓ)
枚方市	目標	22	対17年度比12.3%削減(23,836t) 20,904t)	対17年度比11.0%削減(13,537,726kwh) 12,048,576kwh)	対17年度比29.4%削減(461,551ℓ) 325,855ℓ)	対17年度比18.0%削減(1,242,281m ³) 1,018,670m ³)	対17年度比14.3%削減(150,462ℓ) 128,946ℓ)	軽油対17年度比2.0%以内の増加にとどめる(246,704ℓ) 251,638ℓ)
	実績	20	対17年度比6.6%削減(23,836t) 22,263t)	対17年度比2.4%削減(13,207,763kwh)	対17年度比14.1%削減(396,388ℓ)	対17年度比14.4%削減(1,063,152m ³)	対17年度比8.6%削減(137,569ℓ)	軽油対17年度比5.1%増加(259,290ℓ)
茨木市	目標	24	-	エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油) CO ₂ 換算で対19年度比6%削減 (16,645t-CO ₂)(目標値)				
	実績	20	-	エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油・コークス) 対13年度比29.8%削減 (34,754t-CO ₂)				
八尾市	目標	21	-	前年度比1%削減	-	-	前年度比1%削減	
	実績	20	-	前年度比3%削減(608,462kwh減)	-	-	前年度比6%削減(2,711ℓ減)	

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
泉佐野市	目標	22	平成20年度を基準年とし、CO2の排出を年1%の削減目標					
	実績	20	大阪府温暖化の防止等に関する条例の届出では、平成17年度の排出量に比べ、7.3%のCO2を排出削減	20,208千kwh	159kl	(都市ガス) 654千m3 (LPガス) 16t	99kl	
富田林市	目標	22	対16年度比 0.1%削減 (9,261,483kg-CO2)					
	実績	20	9,159,513kg-CO2	6,382,559kg-CO2	247,460kg-CO2	1,824,267kg-CO2	36,671kg-CO2	656,300kg-CO2
寝屋川市	目標	21	-	対16年度比 5%削減 (施設稼働除く) (13,597,782kwh)	燃料の使用量(自動車含む)を 概ね対16年度比5%削減 (都市ガス:933,420m ³) (LPG:22,236kg) (68,696ℓ)			廃プラスチックの 焼却量(5,122t) を、対16年度比 12%削減
	実績	20	-	対16年度比 1.0%削減 (14,170,995kwh)	対16年度比 22.3%増加 (250,690ℓ)	都市ガス:対16年 度比10.9%削減 (874,655m ³) LPG:同30.4%減 少(16,288kg)	対16年度比 2.5%増加 (74,119ℓ)	対16年度比 21.4%減少 (4,574t)
河内長野市	目標	20	平成17年度を基準として平成25年度までに37パーセント以上削減(ただし、森林吸収量含む。)	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	
	実績	20	-	21814500kwh	366166ℓ	LPG:29313.6kg 都市ガス:337710m ³	72763.4ℓ	
松原市	目標	18	-	対10年度比 概ね5%削減 実績 13.1%削減 14,064,167kwh	対10年度比 概ね10%削減 実績 23.4%削減 10,495ℓ	対10年度比 概ね10%削減 実績 4.9%増加 1,032,104m ³	対10年度比 概ね10%削減 実績 4.4%削減 49,053ℓ	
	実績	20	-	12,782,240kwh	8,628ℓ	897,748m ³	65,203ℓ	
大東市	目標	24	-	対17年度比 6%削減 (13,248,273.3kwh)	対17年度比 6%削減 (3,169.6ℓ)	対17年度比 6%削減 (511,946m ³)	対17年度比 6%削減 (54,662.3ℓ)	
	実績	20	-	対17年度比 2.07%削減 (13,802,601.0kwh)	対17年度比 39.74%削減 (2,032.0ℓ)	対17年度比 8.63%削減 (497,611.1m ³)	対17年度比 0.29%削減 (57,980.5ℓ)	
和泉市	目標	22	-	19年度数値維持 (1,380,864kwh)		18年度数値維持 (114,035m ³)	対11年度比 36%削減 (50,886ℓ)	-
	実績	20	-	対11年度比 0.93%増加 (1,377,339kwh)		対13年度比 2.5%増加 (105,031m ³)	対11年度比 36.8%削減 (50,257ℓ)	-

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
箕面市	目標	22	-	対11年度比 15%削減 (24,365,000kwh)	-	対11年度比 10%削減 (1,384,791m ³)	対11年度比 10%削減 (76,557ℓ)	-
	実績	20	-	対11年度比 3.3%増加 (29,614,650kwh)	-	対11年度比 0.1%削減 (1,537,439m ³)	対11年度比 10.9%削減 (75,782ℓ)	-
柏原市	目標	21	-	対12年度比 10%削減 (供給処理施設を除く)	対12年度 10%削減	対12年度 10%削減	-	自動車燃料の総 使用量 対12年度比 5%削減
	実績	19	-	対12年度比 12.5%削減	対12年度比 4%増加	対12年度比 都市ガス 19.8%削減 プロパン 13%削減	-	対12年度比 A重油1.7%削減
羽曳野市	目標	22	対13年度比 11%削減 (8,118,629kg-CO ₂)	対13年度比 11%削減 (15,505,036kwh)	対13年度比 11%削減 (84,562ℓ)	対13年度比 11%削減 (854,020m ³)	対13年度比 11%削減 (68,643ℓ)	-
	実績	20	8353,868kg- CO ₂ (8.4%減)	16,523,106kwh (5.1%減)	78,319ℓ (17.6%減)	844,621m ³ (12.0%減)	56,277ℓ (27.0%減)	-
門真市	目標	23	-	対17年度比 5%削減 (20,970千kwh)	対17年度比 5%削減 (48,500ℓ)	対17年度比 5%削減 (868,300m ³)	対17年度比 5%削減 (31,730ℓ)	* 軽油 対17年度比5% 削減(64,500ℓ)
	実績	19	-	24128千kwh	25548ℓ	736805m ³	58546ℓ	27,768ℓ
摂津市	目標	22	対17年度比 5%削減 1,120t/CO ₂	対17年度比概ね 5%削減 20,166,506 kwh	対17年度比概ね 5%削減 199,875ℓ	対17年度比概ね 5%削減 333,692m ³	対17年度比概ね 5%削減 70,341ℓ	-
	実績	20	対17年度比 4.4%削減 976t/CO ₂	21,223,516 kwh 0%減	166,742ℓ 20.7%減	352,796m ³ 0.4%増	91,723ℓ 23.9%増	-
高石市	目標	17	3,391トン/CO ₂	対11年度 概ね5%削減 (5,965,384.4kwh)	対11年度 概ね5%削減 (22,536.4ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (469,691.7m ³)	対11年度 概ね5%削減 (22,536.6ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (軽油:3,775.7ℓ) (A重油:4,770.9ℓ)
	実績	20	3,307トン/CO ₂	5,885,046kwh	5,485ℓ	445,146m ³	22,794.0ℓ	軽油:15,332.2ℓ A重油:16,860ℓ
藤井寺市	目標	22	対10年度比 5%削減 (5,175t-CO ₂)	対10年度比 5%削減 (9,894,083wh)	極力削減	対10年度比 5%削減 (399,608m ³)	公用車使用量対10年度 比10%削減(31,003ℓ) その他使用量 極力削減	軽油:公用車使用量対10年 度比10%削減(79,130ℓ)その 他使用量 極力削減 A重油:対10年度比4%削減 (20,438ℓ)
	実績	20	集計中	集計中	集計中	集計中	集計中	集計中
東大阪市	目標	22	-	対17年度比 -5% (50,450,295kwh)	対17年度比 -5% (305,149ℓ)	対17年度比 -5% (都市ガス: 4,542,913m ³) (LPG:5,950kg)	対17年度比 -5% (260,228ℓ)	対17年度比 -5% (軽油:236,262ℓ) (A重油:16,800ℓ)
	実績	20	-	対17年度比 -0.2% (50,352,843kwh)	対17年度比 +3.4% (315,413ℓ)	対17年度比 都市ガス:-16.8% (3,778,917m ³) LPG:-25.7% (4,420kg)	対17年度比 -7.8% (239,892ℓ)	対17年度比 軽油:+19.7% (282,701ℓ) A重油:+20.4% (20,230ℓ)

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績								
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
泉南市	目標	21	対前年比 - 6%	9193385kwh	176797ℓ	125693m ³			
	実績	20	- 6%	9780197kwh	188082ℓ	133716m ³			
四條畷市	目標	22	対16年度比温室効果ガス排出量5%削減(3,667t-CO ₂)	対16年度比概ね5%削減(7,908,890Kwh)	対16年度比概ね5%削減(990ℓ)	対16年度比概ね5%削減 都市ガス:237,808m ³ LPガス:14,082kg	対16年度比概ね7%削減(33,924ℓ)	軽油使用量対16年度比概ね7%削減(10,857ℓ)	
	実績	20	3,707t-CO ₂	7,983,963Kwh	1,164ℓ	都市ガス:243,355m ³ LPガス:14,074kg	28,109ℓ	14,292ℓ	
交野市	目標	22	対16年度比温室効果ガス排出量6%削減	対16年度比6%削減	対16年度比6%削減	対16年度比6%削減	対16年度比6%削減	対16年度比軽油6%削減	
	実績	20	対16年度比11.5%削減(6,593,534kg-CO ₂)	対16年度比12.5%削減(14,609,053kwh)	対16年度比2.9%削減(191,524ℓ)	対16年度比 都市ガス:44.2%削減(95,400m ³) LPガス:20.9%削減(32,612kg)	対16年度比11.1%削減(49,523ℓ)	対16年度比軽油:1.7%削減(70,512ℓ)	
大阪狭山市	目標	22	二酸化炭素排出量610,399KG-CO ₂ (基準年比 4%)					廃棄物排出量80,565リットル(基準年比 13%)	
	実績	20	二酸化炭素排出量616,209KG-CO ₂ (基準年比 3.1%)					廃棄物排出量82,297リットル(基準年比 11.1%)	
阪南市	目標	22	対17年度比温室効果ガス排出量5%削減(5040t-CO ₂)	対17年度比5%削減(9,291,928kwh)	対17年度比5%削減(283,112ℓ)	対17年度比5%削減 (プロパン:27,688kg) (都市ガス:633m ³)	対17年度比5%削減(35,033ℓ)	対17年度比5%削減 (軽油:59,122ℓ) (A重油:135,185ℓ)	
	実績	20	4,359t-CO ₂	8,484,504kwh	191,203ℓ	プロパン:17,935kg 都市ガス:587m ³	38,081ℓ	軽油:53,596ℓ A重油:108,738ℓ	
島本町	目標	23	対12年度比温室効果ガス排出量6%削減	-	-	-	-	-	
	実績	20	16.4%減(8,826,225kg-CO ₂)	10,487,687kWh	0ℓ	都市ガス85,373m ³ LPガス8,058kg	15,366ℓ	-	
豊能町	目標	23	対17年度比温室効果ガス排出量5%削減(4,171t-CO ₂)	対17年度比5%削減(6,328,941kwh)	対17年度比5%削減(23,725ℓ)	対17年度比5%削減 (プロパン:32,681kg) (都市ガス:133,810L)	対17年度比5%削減(47,547ℓ)	-	
	実績	20	3,325t-CO ₂	4,960,288kwh	18,711	LPG:28,033kg 都市ガス:110,159L	43,564ℓ	-	
能勢町	目標								
	実績								

未設定

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
忠岡町	目標	24	対18年度 2%削減 (9,346t-CO ₂)	対18年度 1%削減 (6,370,886kwh)	対18年度 1%削減 (24,322ℓ)	対18年度 1%削減 (LPG:8,233L 都市ガス:194,282m ³)	対18年度 8%削減 (13,455ℓ)	対18年度 1%削減 (軽油:2,554ℓ A重油:17,758ℓ)
	実績	20	対18年度比 26%削減 (6,932t-CO ₂)	対18年度比 2%削減 (6,247,157kwh)	対18年度比 56%削減 (10,775ℓ)	対18年度比 LPG:0%削減 (8,259kg) 都市ガス:84%削減 (30,381m ³)	対18年度比 12%削減 (11,778ℓ)	対18年度比 軽油:23%削減 (1,955ℓ) A重油:16%削減 (14,916ℓ)
熊取町	目標	23	対17年度比 4.2%削減 (7,502,127kg-CO ₂)	対17年度比 4.5%削減 (10,620,812kwh)	灯油・ガス・A重油 対17年度比3.2%削減 (20,241,107MJ)		対17年度比 4.3%削減 (33,583ℓ)	軽油 対17年度比4.3% 削減(16,069ℓ)
	実績	20	7,070,380kg-CO ₂ (基準(H17)年度比 9.7%)	10,162,077kwh (基準(H17)年度比 8.6%)	18,021,059.8MJ (基準(H17)年度比 13.8%)		33,172.6ℓ (基準(H17)年度比 5.5%)	6,235.2ℓ (基準(H17)年度比 62.9%)
田尻町	目標	18	対12年度比 6%削減 (1,413t-CO ₂)	対12年度比 6%削減 (2,683,449kwh)	対12年度比 6%削減 (13,677ℓ)	対12年度比 6%削減 (プロパン:457kg 都市ガス: 160.949m ³)	対12年度比 6%削減 (12,699ℓ)	対12年度比 6%削減 (軽油:5,636ℓ A重油:5,170ℓ)
	実績	12	1,503t-CO ₂	2,854,733kwh	14,550ℓ	プロパン:486kg 都市ガス: 171,222m ³	13,510ℓ	軽油:5,996ℓ A重油:5,500ℓ
岬町	目標						未設定	
	実績						未設定	
太子町	目標						未設定	
	実績	21		533,824kwh			9,306ℓ	軽油:1,469ℓ 混合油:52ℓ
河南町	目標	22	平成22年度に 平成17年度基 準年の5%削減					
	実績	20		4,487,306.0KWh	141,278.0ℓ	LPG7,101.0Nm ³ +天然ガス800.0 Nm ³	19,209.0ℓ+軽油 20,675.0ℓ	
千早赤阪村	目標						未設定	
	実績	17		227,029kwh	1,112ℓ	1.9m ³	4,130ℓ	1,833ℓ(軽油)

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
基準年度(H19年度)の3%削減	基準年度(H19年度)の3%削減	基準年度以上の紙リサイクル率	[オフィス系庁舎] H11.12~H21.12 本庁舎、区役所等 [環境局] H13.3~H17.9 全ごみ焼却工場 [建設局] H14.6~H17.6 全下水道事務所	第 期 大阪市環境基本計画 (H15.2策定) エコオフィス21 (H9.5策定 H13.5改定 H18.5改定 H19.9改定 H21.11改定)	「大阪市地球温暖化対策地域推進計画」 * 目標・実績はエコオフィス21によるもの(対象:全庁) * 実績は事業所を除く
対19年度実績比 4.2%増 (14,265万枚)	対19年度実績比 8.1%削減 (223,060m ³)	-			【庁内ごみの分別種類】 紙類(コピー用紙、ダンボール、カラー用紙、新聞紙、封筒類)、空き缶・空きびん・ペットボトル
162.9 ton -1.0%(前年比)	2,072,075 m ³ -1.0%(前年比)	106.8 ton -1.0%(前年比)	[認証取得] 本庁舎 H14.2 5区役所 H16.2 美原区役所 H18.2	第2次堺市環境基本計画 (H21.5策定) 堺市地域省エネルギービジョン (H19.3改定) 堺市地球温暖化対策実行計画 -2期計画-(H20.3改訂) 堺市環境モデル都市行動計画 (H21.4策定)	ガソリンにはE3ガソリンを含む。 平成20年10月に堺市高石市消防組合を本市消防局として合併したため、20年度実績の前年比データは記載せず。 温室効果ガス排出削減目標については消防局加入後の目標を現在検討中であるため、暫定値として前年度比1%減の値を記載。
164.5 ton	2,093,005 m ³	107.9 ton	[認証解除] 全庁舎 H19.2.19解除		
-	対13年度比 6%削減 (747,468m ³)	-	予定なし	岸和田市環境計画(H10.3策定)H20.3改定 岸和田市地球温暖化対策率先実行計画(H15.3策定) H19.4改定	【庁内ごみの分別種類】 古新聞・雑誌・ダンボール・コピー用紙等・プラスチック・カン・ビン・ペットボトル
21,102,081枚 (A4換算)	614,905m ³	-			
-	-	-	H18年度に豊中市上下水道局がISO14001を取得 H21.3に豊中市伊丹市クリーンランドがISO14001を取得	豊中市環境基本計画 (H11.3策定、H17.5改定) 豊中市地球温暖化対策推進実行計画 (H13.10策定、H19.3第2次計画策定) 豊中市地球温暖化防止地域計画(H19.11策定) 豊中市地域省エネルギービジョン(H16.2策定) 豊中市みどりの基本計画(H11.5策定) 第2次一般廃棄物処理基本計画(H14.6策定、H19.3改定) 第2次豊中市ごみ減量計画(H15.3策定、H19.3改定)	ローカルアジェンダ21 「豊中アジェンダ21 - 地球を守るよな市民行動計画」 (H11.3策定、H17.6改定) 【庁内ごみの分別種類】 ビン・カン・ペットボトル・可燃ごみ・不燃ごみ・紙
553.6t 2.2%(前年度比)	1,049,207m ³ -2.6%(前年度比)	-			
-	-	-		池田市環境基本計画(H14.3策定) 池田市地域省エネルギービジョン(H14.3策定) 池田市地球温暖化防止実行計画(H19.3策定) 池田市地域新エネルギービジョン(H20.2策定)	ローカルアジェンダ21 「池田市環境基本計画」
21,949,662枚 (A4換算)	376,268m ³	-			
13,991,450枚	28,047m ³	-	取得済 * 本庁舎及び出張所 (H16.7) 更新サイト拡大 認証解除 本庁舎及び3出張所 H22.6.30	・吹田市環境基本計画(H10.8策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン(改定版)策定(H16.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン(第3版)策定(H19.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン(第4版)策定(H22.4策定)	・左記の実績及び目標値は本庁舎の数値 ・ローカルアジェンダ21(H17.3策定) ・【庁内のごみの分別種類】 ビン・缶・ペットボトル・紙ごみ・その他
13,708,750枚	29,196m ³	-			

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
15年度の水準を維持 (4,730,000枚)	15年度の水準を維持 (246,000m ³)	-	予定なし	泉大津市環境基本計画 (H14.3策定) 地球温暖化対策の推進に 関する泉大津市実行計画 (H16.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ごみ・空き缶・空きビン・ 乾電池・ペットボトル・古新聞・ 古雑誌・ダンボール
対目標年度比 4%増加 (4,902,500枚)	対目標年度比 19%削減 (199,415m ³)	-			
単年度目標なし (備考欄参照)	17年度使用量より削減する	焼却ごみ量 対17年度比1% 削減	取得済 * 本庁舎 (H14.3) H20.3認証更新	・高槻市環境基本計画 (H14.3策定 H19.10改定) ・たかつきエコオフィスプラン (後期プラン) ～ 地球温暖化防止含む率先 実行計画～ (H18.3策定) ・(仮称)地球温暖化対策実 行計画 (H23.3策定予定)	ローカルアジェンダ21策定 (H16.3、最新版H21.6) 名称:「たかつきローカルアジェンダ21」 コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握 ・目標:平成22年度までに紙購入量 平成17年度比10%削減 ・庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみ - 大型、その他 ・不燃ごみ - ガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみ - 古紙類、カン、ビン
対17年度比 5.2%増加 (69,962千枚)	対17年度比 10%削減 (664千m ³)	対17年度比 0.3%削減 (1,393t)			
			予定なし	貝塚市地球温暖化対策実行計画 (H19.2策定) 貝塚市地域省エネルギービジョン 初期ビジョン(H20.2策定)重点 ビジョン(H21.2策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ、カン、ビン、ペットボ トル、プラスチック類、乾電 池、古新聞、ダンボール
			予定なし	守口市 地球温暖化対策実行計画 (H14.6策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・廃プラスチック類・ 新聞紙・古紙類・ビン・カン・ ペットボトル、紙コップ類
	対12年度比 33.9%削減 (370,939m ³)	* 古紙類のリサ イクルの徹底			
対21年度比 0.5%削減 (A4換算 2,826万枚 2,812万枚)	対17年度比 8.0%削減 (398,660m ³ 366,767m ³)	本庁・分館の可燃 ゴミ排出量を対17 年度比21.0%削減 (27.5t 21.7t)	取得済 (H13.10) 現在、市立幼 稚園、市立小 中学校、市民 病院の医療 部門を除く全 組織において 認証取得	枚方市環境基本計画 (H13.2策定) 枚方市役所CO ₂ 削減プラン ～ 枚方市役所地球温暖化対 策実行計画～ (H19.6策 定) (旧 枚方市役所 地球温暖化防止実行計画 (H14.3策定)が平成18年度 に計画期間満了)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・古紙類・ビン・カン ・ペットボトルなど廃プラス チック類
対17年度比 1.2%削減 (28,852,838枚)	対17年度比 4.2%削減 (381,774m ³)	対17年度比 6.0%削減 (25.89t)			
対19年度比 用紙類全体7% 削減 (77,233,000枚) (目標値) * A4換算	対19年度比 8%削減 (644,406m ³) (目 標値)	普通ごみ排出量 H19年度比 9%削減 (515.8t) (目標 値)	平成19年10 月12日認証 取得 (本庁舎(本 館・南館))	茨木市環境基本計画 (H16.3策定) エコオフィスプラン いばらき (H12.3策定) (H21.3改正)	【庁内ごみの分別種類】 新聞紙・その他の紙類・空き 缶・空きビン・ペットボトル・普 通ごみ
対13年度比 6.2%増加 (14,592,897枚) * A4換算	対13年度比 22.8%削減 (648,639m ³)	対14年度比 43.3%削減 (499.8t)			
(平成21年度より 実績値のみ把握 するよう変更)	-	前年度比 1%削減	K E S 認証更 新(平成22 年3月1日 付、本庁舎及 び清掃庁舎)	環境マネジメントシステムに よる環境改計画 大阪府温暖化の防止等に関 する条例に基づく削減計画	【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、資源ごみ、複雑ご み、埋立ごみ、新聞、雑誌、 ダンボール、その他紙類
前年度比 0.5%削減 (64,837枚減)	-	前年度比 7%削減 (14.6t減)			

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
			予定なし	泉佐野市地球温暖化対策実行計画(平成20年3月策定)	庁内ゴミの分別・可燃ゴミ・カン・ビン、ペットボトル・紙類
			H21年度 エコアクション 21認証・登録取得	富田林市地球温暖化対策実行計画(第2次)(H18.3策定)	*目標・実績は富田林市地球温暖化対策実行計画(第2次)より 【庁内ごみの分別種類】 もえるごみ、粗大ごみ、資源カン・ビン、資源ペットボトル、資源古紙古布、資源プラスチック製容器
対16年度比 2%削減 (80,362,438枚)	節水に心がける (数値目標なし)	事務用品等の再生品購入推進	市役所本庁舎 H16年度 認証取得	寝屋川市環境基本計画 (H14.2策定) 寝屋川市役所 温暖化対策実行計画 (H13.2策定) 第二期寝屋川市役所温暖化 対策実行計画(H17.4策定) 寝屋川市グリーン調達方針 (H15.4策定) 寝屋川市環境基本計画 (H23.4改訂予定) 第三期寝屋川市役所温暖化 対策実行計画(H22.4策定予定)	
対16年度比 3.2%増加 (84,640,779枚)					
削減に努める	削減に努める		予定なし	河内長野市環境基本計画 (H13.3策定) 河内長野市 環境率先行動実行計画 (H13.10策定,H21.8改訂) *温暖化防止実行計画を含む	【庁内ごみの分別種類】 古新聞・雑誌・ダンボール・コピー用紙・カン・ビン・ペットボトル・一般ごみ ペットボトルのキャップ
対10年度比 概ね10%削減 実績 17.0%増加 29,961,112枚	対10年度比 概ね10%削減 実績 27.4%削減 351,230m ³	対10年度比 概ね10%をリサイクル 実績 50.2%減少 53.2t	予定なし	地球温暖化対策の推進 に関する松原市実行計画 (H14.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 用紙類
29,209,764枚 A4換算	332,986m ³	40.6t			
対17年度比 6%削減 8,136,910(枚)	対17年度比 6%削減 333,034(m ³)		検討中	大東市環境基本計画 (H18.7策定) 大東市地球温暖化対策 実行計画(H14.1策定) 第2期大東市地球温暖化対 策実行計画(H19.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 古紙(4種類)、カン・ビン、 ペットボトル、紙パック
対17年度比 20.43%増加 9,799,000(枚)	対17年度比 1.39%削減 328,413(m ³)				
対11年度比 51%削減 (3,605,788枚) *A4換算	対11年度比 7%削減 (12,263m ³)		本庁舎 (H13.11)	和泉市環境基本計画 (H13.9策定)	*本庁舎数値 【庁内ごみの分別種類】 ダンボール・新聞紙・一般紙・ 雑誌類・ペットボトル・カン・ビン・乾電池
対11年度比 51.6%削減 (3,561,587枚) *A4換算	対11年度比 8.2%削減 (12,099m ³)				

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
対11年度比 5%削減 (24,869,971枚)	対11年度比 5%削減 (468,890m ³)	-	予定なし	箕面市 地球環境保全行動計画 (H12.3策定) 箕面市 快適環境づくり計画(ステップ 2) (H13.3策定)	ローカルアジェンダ21 「箕面市地球環境保全行動計画」 (H12.3策定) 庁内ごみの分別種類 缶、ビン、紙パック、ペットボトル、不 燃ゴミ、新聞紙、雑誌、再生紙、段 ボール 箕面市快適環境づくり計画(H6.3 策定)
対11年度比 11.2%増加 (29,115,079枚)	対11年度比 19.8%削減 (395,926m ³)	-			
対12年度比 5%削減 A4換算枚数	対12年度比 5%削減	-	-	柏原市 地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定)	
-	対12年度比 26.8%削減	-			
-	-	-	予定なし	羽曳野市地球温暖化対策 推進実行計画 (H15.3策定)	
-	-	-			
-	-	-	検討中	第二期門真市エコオフィス計画 (H19.4策定) 期間は平成19年度～平成23 年度までの5年間	【庁内ごみの分別種類】 普通ごみ、プラスチック製容器 包装、びん・缶類、自転車類、小 型・ガラス類、ペットボトル、古 紙・古布
-	-	-			
-	対17年度比概ね 5%削減 234,575m ³	-	環境センター に於いて環 境エコアクション 21(EA21)を 平成21年3月 末認証取得	摂津エコオフィス推進プログラム (H.18.11策定)	対象：全庁舎(外部職場を含 む)電気、ガス、水道等の使用量 【庁内ごみの分別】 OA用紙、新聞、雑誌、缶、びん、 ペットボトル
-	247,522m ³ 0.2%増	-			
対11年度 概ね5%削減 (10,264,180枚)	対11年度 概ね5%削減 (190,550.0m ³)	-		高石市 地球温暖化対策実行計画 (H13.11策定)	【庁内ごみの分別種類】 紙類(コピー用紙、ダンポー ル、新聞紙、本、雑誌)・空き 缶・空きびん・ペットボトル・白 色トレイ
14,960,875枚	143,435m ³	-			
対10年度比 5%削減 (19,510,557枚)	対10年度比 5%削減 (223,446m ³)	-	予定なし	藤井寺市 地球温暖化対策推進実行計 画 (H13.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 普通ゴミ、粗大ゴミ、カン、ピ ン、ペットボトル、紙、新聞、 ダンボール、乾電池
集計中	集計中	-			
			水道局庁舎 (H16.2)	東大阪市 地球温暖化対策実行計画 (H19.7策定)	【庁内ごみの分別種類】 PPC用紙、機密文書、新聞・ 雑誌、ダンボール、かん・び ん、ペットボトル、その他プラ スチック製容器包装、もえる ごみ、雑紙
			本庁舎 (H18.3)		

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
1974564枚	140140m ³		予定なし		
2100600枚	149086m ³				
対16年度比概 ね5%削減 (12,573,075枚)	対16年度比概 ね5%削減 (134,767m ³)	可燃ごみ 対16年度比概 ね5%削減 (124,144kg)	H18.4取得 H21.4より 独自のシス テム運用	四條畷市地球温暖化対策実 行計画(H18.3策定) 四條畷市環境基本計画 (H19.6策定)	用紙使用量には、コピー用 紙のほか、定期刊行物の発 行に伴う用紙使用量を含む ローカルアジェンダ21は策 定予定は無し
12,632,563枚	109,920m ³	118,124kg	平成19年6月 よりLAS-Eに 沿ったEMSを 導入し、運用 している	第2期交野市 エコオフィス率先行動計画 (H17.3策定)	
削減する	対16年度比 5%削減	分別及びリサイ クルの向上を図 り、廃棄物の減 量に努める			
-	対16年度比 29.1%削減 (188.477m ³)	-			
2,681,760枚 (基準年比 4%)	6,616m ³ (基準年比 11%)	-	H21.03.31付 EA21取得 (本庁舎・消 防庁舎)	地球温暖化対策実行計画 「エコプランおおさかさやま」 (H13.3策定)	
3,081,000枚 (基準年比10.3%)	6,714m ³ (基準年比 9.7%)	-			
対17年度比 5%削減 *A4換算 (5,312,866枚)	対17年度比 5%削減 (155,950m ³)	-	予定なし	阪南市 地球温暖化対策 推進実行計画 (地球大好き市役所づくり)	【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、カン、ビン、ペット ボトル、プラスチック類、新聞、ダンボール、電池、粗大 ごみ
4,732,100枚	121,195m ³	-			
-	-	-	*本庁舎 (H16.6)取得済 *消防本部庁 舎、上下水道 庁舎、ふれあ いセンター、清 掃工場(H20.6) 取得済	島本町 地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定) 第二期島本町 地球温暖化対策実行計画 (H19.3策定)	*目標・実績は第二期島本 町地球温暖化対策実行計画 より 【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、不燃ゴミ、ビン、カ ン、ペットボトル、紙、ダン ボール
-	-	-			
-	-	-	予定なし	第2次豊能町 地球温暖化対策実行計画 (H19.4策定)	
-	-	-			
			予定なし	能勢町環境基本計画 (H14.3策定)	

			環境マネジメントシステム 認証取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
			予定なし	第2次忠岡町 地球温暖化対策実行計画 (平成19年度策定)	基準年度 (平成18年度) 実行年度 (平成20年4月～平成24年3 月)
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹 底し、排出抑制 に努める	予定なし	第2期熊取町 地球温暖化対策実行計画 (H19.3策定)	庁内ゴミの分別 可燃ごみ びん類 紙 類 衣類 かん類 ペットボトル プラスチック製容器 包装 粗大・不燃ごみ
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹 底し、排出抑制 に努める	予定なし	基準年度:H17年度 実行年度:H19年度～H23年度	
対12年度比 6%削減 (1,799,630枚)	水の適正利用 の推進	公共工事におけ る環境配慮の促 進	予定なし	田尻町 地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定)	【町内ごみの分別種類】 3種12品目
1,914,500枚					
			予定なし	岬町 地球温暖化防止対策 実行計画 (H15.3策定)	
				分別:可燃ごみ、資源ごみ (紙類・古着類、ペットボト ル、空缶・空瓶)、不燃ごみ	
			予定なし		本庁舎分のみ
1,805,000枚	1,859m ³				
			E A 2 1 認証 済(H20.5.2)	平成18年度末に河南町地 球温暖化対策実行計画を策 定	17年度比マイナス8.82%
13,613.8kg	62,755.0m ³				
			予定なし		本庁舎分のみ
810,000枚	1,230m ³				

豊かな環境づくり大阪府民会議規約

(名称)

第1条 この会議は、豊かな環境づくり大阪府民会議(以下「府民会議」という。)と称する。

(目的)

第2条 府民会議は、府、市町村、事業者、府民及び民間団体等の協働により、豊かな環境の保全と創造に関する施策を積極的に推進することを目的とする。

(事業)

第3条 府民会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)大阪府環境基本条例第7条に規定する豊かな環境の保全と創造に資する啓発活動等の事業を企画し推進すること。
- (2)大阪府環境基本条例第20条に規定する地球環境保全に資する行動指針を策定し、地球環境保全に関する実践行動を企画し推進すること。

(構成)

第4条 府民会議は、府、市町村、事業者・府民の団体等及び学識経験者をもって構成する。

2 府民会議に入会しようとするもの(学識経験者を除く。)は、府民会議総会の承認を得なければならない。

(会長)

第5条 府民会議の会長は、大阪府環境政策監とし、府民会議を代表する。

(議長)

第6条 府民会議に議長を置き、府民会議を構成する学識経験者の委員の中から府民会議総会において選出する。

2 議長は、府民会議総会を招集し、これを運営する。

3 議長が不在のときは、議長があらかじめ指名する副議長がその職務を代理する。

(総会)

第7条 府民会議総会は、府、市町村、事業者・府民の団体等において選任された者及び学識経験を委員として組織する。

2 学識経験者の委員は、会長が指名する。

3 学識経験者の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(企画委員会)

第8条 府民会議の事業の企画立案等を行うため、府民会議に企画委員会を置く。

2 企画委員会の委員長及び委員は、議長が指名する。

(事務局)

第9条 府民会議の事務局を大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課内に置く。

(雑則)

第10条 この規約に定めるもののほか、府民会議に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

この規約は、平成6年11月10日から施行する。

附則

この規約は、平成10年1月20日から施行する。

附則

この規約は、平成10年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成12年1月31日から施行する。

附則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成22年6月29日から施行する。

豊かな環境づくり大阪府民会議 委員名簿

平成22年6月末現在
印は企画委員会委員

【行政】

(5名)

会 長	大阪府	環境政策監	大住 一仁
	大阪市	環境局環境施策部長	松本 高秋
	堺市	環境局環境保全部長	真瀬 和則
	池田市(市長会会長市)	市民生活部長	徳永 二郎
	能勢町(町村長会会長町)	環境創造部長	森村 保

【学識経験者】

(7名)

議 長	(財)地球環境戦略研究機関関西研究センター所長	鈴木 胖
副議長 (企画委員長)	大阪大学大学院工学研究科教授	澤木 昌典
	大阪産業大学大学院工学研究科教授	尾崎 博明
	大阪府立大学大学院理学系研究科教授	谷田 一三
	サントリー(株)大阪秘書室課長	狭間恵三子
	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授	花田真理子
	大阪教育大学教育学部准教授	石川 聡子

【府民団体】

(13名)

(社)大阪エイフボランティアネットワーク	副会長	金谷美津子
(財)大阪府こども会育成連合会	常務理事	小川 佳映
大阪府生活協同組合連合会	事務局次長	小山 正人
大阪府青年団協議会	参 与	谷村 彰紀
(社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部	副支部長	新家 庸子
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員	島岡 成子
国際ロータリー第2660地区	社会奉仕委員会・ 環境保全担当チームリーダー	初木 賢司
なにわの消費者団体連絡会	事務局長	岡本 孝子
(社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長	大東 昌彦
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長	加納 力
日本野鳥の会 大阪	副代表	橋本 正弘
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長	坂 貴之
ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区	環境保全委員長	脇田 良樹

【事業者団体】

(9名)

(社)関西経済連合会	理事・経済調査部長	藤原 幸則
(社)関西経済同友会	事務局次長兼企画調査部長	松尾 康弘
大阪商工会議所	経済産業部長	中川 正隆
(社)大阪府工業協会	専務理事	中村 尚司
大阪府中小企業団体中央会	事務局長	山野 義雄
大阪百貨店協会	事務局長	櫻井 恭二
日本チェーンストア協会関西支部	参 与	宮川 精慈
大阪府小売市場総連合会	副会長	小寺 英夫
大阪府商店街連合会	事務局長	満園 賢司

【関連団体等】

(6名)

地球環境関西フォーラム	事務総長	加藤 久佳
(財)大阪みどりのトラスト協会	常務理事兼事務局長	松本和比古
大阪府地球温暖化防止活動推進センター	センター長	村井 保徳
大阪府リサイクル社会推進会議	代表幹事・循環型社会推進室資源循環課長	山田 桂三
大阪自動車環境対策推進会議	事務局・環境管理室交通環境課長	堀内 史郎
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局・建築指導室建築企画課長	奥田 憲裕

構成団体の連絡先（平成22年6月末現在）

【府民団体 13】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(社)大阪エルフボランティアネットワーク	副会長 金谷美津子	〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-10-28 大阪府城東庁舎内	TEL 06-6933-8166 FAX 06-6933-8167
(財)大阪府子ども会育成連合会	常務理事 小川 佳映	〒536-0025 大阪市城東区森之宮1-6-102 大阪府森之宮庁舎2階	TEL 06-6969-4450 FAX 06-6969-4451
大阪府生活協同組合連合会	事務局次長 小山 正人	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
大阪府青年団協議会	参 与 谷村 彰紀	〒536-0025 大阪市城東区森之宮1-6-102 大阪府森之宮庁舎2階	TEL 06-6944-0787
(社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部	副支部長 新家 庸子	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 O C A Tビル 4階	TEL 06-6648-5757 FAX 06-6648-5858
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員 島岡 成子	〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リガロビル403号室	TEL 06-6448-1121 (内) 3880
国際ロータリー第2660地区	社会奉仕委員 初木 賢司	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階	TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
なにわの消費者団体連絡会	事務局長 岡本 孝子	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
(社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長 大東 昌彦	〒559-0034 大阪市住之江区 南港北1-13-65 南港コスモプラザビル4階	TEL:06-6613-0053 FAX:06-6613-0063
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長 加納 力	〒536-0025 大阪市城東区森之宮1-6-102 大阪府森之宮庁舎2階	TEL 06-6963-1200 FAX 06-6963-1126
日本野鳥の会大阪	副代表 橋本 正弘	〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階	TEL 06-6766-0055 FAX 06-6766-0056
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長 坂 貴之	〒540-0029 大阪市中央区北浜東3-14 府立労働センター11階	TEL 06-6949-1105 FAX 06-6944-0055
ライオンズクラブ国際協会335-B地区	環境保全委員長 脇田 良樹	〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8 レイト本町ビル2階	TEL 06-6222-7331 FAX 06-6222-7336

【事業者団体 9】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(社)関西経済連合会	理事・ 経済調査部長 藤原 幸則	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階	TEL 06-6441-0102 FAX 06-6443-5347
(社)関西経済同友会	事務局次長 兼企画調査部長 松尾 康弘	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階	TEL 06-6441-1031 FAX 06-6441-1030
大阪商工会議所	経済産業部長 中川 正隆	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8	TEL 06-6994-6486 FAX 06-6944-6249
(社)大阪府工業協会	専務理事 中村 尚司	〒541-0054 大阪市中央区南本町4-3-6 大阪商工会館5階	TEL 06-6251-1138 FAX 06-6245-9926
大阪府中小企業団体中央会	事務局長 山野 義雄	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4370 FAX 06-6947-4374
大阪百貨店協会	事務局長 櫻井 恭二	〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-15-27 白水社ビル4階	TEL 06-6243-0081 FAX 06-6243-0083
日本チェーンストア協会 関西支部	参 与 宮川 精慈	〒557-0015 大阪市西成区花園南1-4-4 イズミヤ(株)内	TEL 06-6657-3455 FAX 06-6657-3398
大阪府小売市場総連合会	副会長 小寺 英夫	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4335 FAX 06-6947-4338
大阪府商店街連合会	事務局長 満園 賢司	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4334 FAX 06-6947-4338

【関連団体 6】

団体名	委員名	所在地	連絡先
地球環境関西フォーラム	事務総長 加藤 久佳	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23階	TEL 06-6444-0550 FAX 06-6444-0611
(財)大阪みどりの トラスト協会	常務理事 兼事務局長 松本 和比古	〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル4階	TEL 06-6263-5480 FAX 06-6263-5433
大阪府地球温暖化防止活動推進 センター	センター長 村井 保徳	〒541-9954 大阪市中央区南本町2-1-8 (財)大阪府みどり公社内	TEL 06-6266-1271 FAX 06-6266-8665
大阪府リサイクル社会推進会議	代表幹事：資源循環 課長 山田 桂三	〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-7 大阪赤十字会館7階 循環型社会推進室内	TEL 06-6941-0351 (内)3819 FAX 06-6944-6209
大阪府自動車環境対策推進会議	事務局：交通環境 課長 堀内 史郎	〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-2 国民会館・住友生命ビル6階 交通環境課内	TEL 06-6941-0351 (内)3898 FAX 06-6941-5778
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局：建築企画 課長 奥田 憲裕	〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22 建築指導室内	TEL 06-6941-0351 (内)3028 FAX 06-6941-1586

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過

平成 6年11月10日	豊かな環境づくり大阪府民会議 設立総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 府民会議の規約の制定、議長の選出等 ・ 環境基本条例第20条に規定する「地球環境保全行動指針」の策定に取り組むことを決定
平成 7年 2月 3日	第2回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地球環境保全行動指針(素案)」の検討
平成 7年 5月23日	第3回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地球環境保全行動指針」の最終案について ・ 府民会議の行動計画の策定に取り組むことを決定
平成 7年 6月 5日	“地球環境を守ろう”府民の集い <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地球環境保全行動指針」の策定
平成 7年11月 6日	第4回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画(仮称)」骨子について検討
平成 8年 3月 1日	府民会議情報誌“かんきょう夢ひろば”創刊
平成 8年 6月 5日	第5回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」の策定
平成 8年12月17日	平成8年度大阪府ローカルアジェンダ21推進活動奨励事業の実施
平成 9年 3月28日	第6回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」実施要領を決定 ・ インターネットによる「かんきょう交流ルーム」の開設について決定 ・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」構成案を決定 ・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催を決定
平成 9年6月5日	「かんきょう交流ルーム」開設
平成 9年 6月24日	第7回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定 ・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定
平成 9年 7月24日	豊かな環境づくり大阪府民の集い <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」受賞者表彰式 ・ かんきょう講演会
平成10年 1月20日	第8回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「豊かな環境づくり府民シンポジウム(仮称)」の開催の決定 ・ 行動の支援事業の拡充等の決定 ・ 府民会議の入会規定の決定と国際ロータリー第2660地区の入会の決定
平成10年 5月 7日	第9回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成10年 6月 5日	豊かな環境づくり大阪府民の集い 第1部・「おおさか環境賞」受賞者表彰式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境にやさしい暮らしのアドバイス ・ かんきょう講演会 第2部・炸裂!和太鼓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 爆笑!えころじ~寄席

平成11年 1月19日	<p>第10回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催の決定 ・ 「グリーン購入啓発キャンペーン(仮称)」の実施の決定 ・ 行動の支援事業の拡充等の決定
平成11年 6月 7日	<p>第11回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成11年 6月24日	<p>豊かな環境づくり大阪府民の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ グリーンコンシューマー入門講座 ～買物からライフスタイルを変える～ ・ 環境にやさしい商品の展示会
平成11年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成12年 1月31日	<p>第12回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入キャンペーン(仮称)」の実施の決定 ・ 「グリーンコンシューマーガイドブック(仮称)作成事業」の実施の決定
平成12年 6月 8日	<p>第13回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定 ・ ライオンズクラブ国際協会 335 B地区の入会の決定
平成12年 6月24日	<p>グリーン購入が社会を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「食から環境を考える - リサイクル料理 - 」 ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ シンポジウム「グリーン購入が社会を変える」
平成12年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成13年 1月30日	<p>第14回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入キャンペーン(仮称)」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい(仮称)」開催の決定
平成13年 5月29日	<p>第15回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成13年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成13年 6月 6日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式 ・ 講演「感じとることの大切さ」
平成13年10月	グリーン購入/NO!!包装キャンペーンの実施
平成14年 1月18日	<p>第16回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入/NO!!包装キャンペーン(仮称)」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい(仮称)」開催の決定
平成14年 5月28日	<p>第17回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成14年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成14年 6月11日	<p>「環境を考える府民のつどい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式・受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式 ・ 講演「大阪の水、世界の水 第3回世界水フォーラムの役割」

平成14年10月	グリーン購入/NO!!包装キャンペーンの実施
平成15年 1月21日	第18回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入/NO!!包装キャンペーン(仮称)」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい(仮称)」開催の決定 等
平成15年 5月19日	第19回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成15年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成15年 6月15日	環境を考える府民のつどい ~おおさか環境賞表彰式・グリーン購入シンポジウム~ <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ グリーン購入シンポジウム 基調講演「私のグリーン購入」 グリーン購入について(解説) パネルディスカッション「グリーン購入が創る持続可能な社会」等 ・ 環境配慮型商品等展示会
平成15年10月	グリーン購入/NO!!包装キャンペーンの実施
平成16年 2月10日	第20回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入/NO!!包装キャンペーン(仮称)」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい(仮称)」開催の決定 等
平成16年 6月 1日	第21回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成16年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成16年 6月25日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 講演「環境にやさしいライフスタイルとふるしきの活用」
平成16年10月	グリーン購入/NO!!包装キャンペーンの実施
平成17年 1月31日	第22回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入/NO!!包装キャンペーン(仮称)」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい(仮称)」開催の決定 等
平成17年5月31日	第23回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成17年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞実施要領」改正の決定 等
平成17年6月18日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「わたしのスローライフ」 ・ 取組報告「企業の立場で進めるエコライフについて」他、意見交換等
平成17年6月20日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 講演「私と自転車と地球のいい関係」演奏会
平成17年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入/NO!!包装キャンペーンの実施
平成18年2月8日	第24回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成18年度府民会議事業(案)について
平成18年6月6日	第25回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成18年度府民会議事業の決定

平成18年6月27日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 環境保全活動の取組み報告 ・ 講演「企業の環境問題への取組みに貢献するエコファンドについて」 ・ 講演「地域に密着した環境銀行の取組み」
平成18年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入/NO!!包装キャンペーンの実施
平成19年2月6日	<p>第26回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成19年度府民会議事業(案)について
平成19年6月7日	<p>第27回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成19年度府民会議事業の決定
平成19年6月26日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 環境活動提案公募型補助金事業、環境教育推進モデル地域事業の取組み報告 ・ 講演「NPO等におけるマネジメントについて」
平成19年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン ~グリーン購入/NO!!包装キャンペーン~の実施
平成20年1月24日	<p>第28回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成20年度府民会議事業(案)について
平成20年9月8日	<p>第29回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成20年度府民会議事業の決定
平成20年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成21年2月10日	<p>第30回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな環境づくり大阪府民会議の運営(案)について ・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成21年度府民会議事業(案)について
平成21年6月17日	<p>第31回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成21年度府民会議事業の決定
平成22年1月20日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「“グリーン購入”に人類の未来がある」 ・ 事例発表 阪急阪神ホールディングス(株) 他
平成22年2月8日	<p>第32回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成22年度府民会議事業の決定
平成22年6月29日	<p>第33回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府民会議規約の一部改正 ・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「環境壁紙コレクション事業」について

豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページ

かんきょう交流 R o o m

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html>

かんきょう交流ルーム

検索

“かんきょう交流 R o o m” は、豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページです。

「豊かな環境づくり大阪行動計画」のページでは、本冊子の内容に加えて、府民会議の構成団体が実施している実践活動についても詳しく紹介しています。

また、環境に関するちょっとした呼びかけやお知らせを掲載している「エコ情報ボックス」(掲示板) や、普段の生活における“エコ度”をチェックできる「エコライフチェック」などのコンテンツのほか、府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」も掲載しています。

是非、“かんきょう交流 R o o m” をご覧いただき、本冊子と併せてご活用ください。



豊かな環境づくり大阪府民会議 平成 22 年 6 月

事務局：大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課 TEL06 (6944) 6710



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。